

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
令和6年度業務実績等報告書

令和7年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

目

次

1	法人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	報告の実施根拠法・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	報告の対象・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4	報告の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5	評価方法の概要（評価基準）・・・・・・・・	2
6	自己評価結果・・・・・・・・	2
	（1）総合的な評定・・・・・・・・	2
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報・・・・・・・・	3
	（3）年度計画の項目毎の評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	3
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	4
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	4
	第4 短期借入金の限度額	5
	第5 剰余金の使途	5
	第6 料金に関する事項	5
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	6
	令和6年度の業務実績に関する評価基準	7
	令和6年度 業務実績 項目別自己評価シート	8

1 法人の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 法人名等 | 名 称 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| | 代 表 理事長 島 貫 隆 夫 |
| | 住 所 山形県酒田市あきほ町 30 番地 |
| (2) 設立年月日 | 平成 20 年 4 月 1 日 |
| (3) 設立団体 | 山形県及び酒田市 |
| (4) 資本金の額 | 196 億 2438 万 9029 円（令和 2 年 3 月 31 日変更） |
| (5) 中期目標の期間 | 令和 6 年度から令和 9 年度まで（4 年間） |
| (6) 目的及び業務 | |

ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療の提供及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 報告の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 28 条 第 2 項

3 報告の対象

令和 6 年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 報告の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所（以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。）を運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自ら評価を行う。

5 評価方法の概要（評価基準）

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和6年度の業務実績に関する評価基準（別紙のとおり）

6 自己評価結果

（1）総合的な評定

ア 概況

日本海総合病院においては、救命救急センターや地域医療支援病院等の指定を受ける地域の中核病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供した。

マイナンバーカードの健康保険証利用及び電子処方箋の利用を促進し、地域の医療安全の向上に努めた。

特に、DPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。

日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供した。

日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。

さらに、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットへの参画により、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。

イ 患者動向及び収支について

別添資料のとおり（令和6年度決算の概況について）

ウ 評価した項目数

総項目数 45 項目【評価 S：9、A：22、B：14、C：0、D：0】

エ 全体評価

令和6年度計画における業務実績及び業務運営については、計画を上回っているものとして評価する。

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総収益（百万円）	25,769			
総費用（百万円）	25,870			
純利益（百万円）	▲101			
常勤職員数（人）	1,142			

(3) 年度計画の項目毎の評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

病院及び診療所による医療機能の分担と地域医療連携推進法人内での連携等により、効率的かつ効果的な業務運営を図りながら、地域の医療水準の向上に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 32項目 【評価 S：8、A：16、B：8、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ 日本海総合病院においてはD P C特定病院群の適用維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。
- ・ 日本海酒田リハビリテーション病院においては、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供し、目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。
- ・ 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し夜間救急の診療体制を維持した。
- ・ 医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を継続して行った。
- ・ 中山間地域において身体の状態や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的とし

た医療 MaaS (Mobility as a Service) 事業を推進し、医療提供体制の拡充を図った。

- ・ 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師・薬剤師・看護師のほか医療職7職種の確保に努めた。
- ・ 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進を図るとともに、時差出勤等の活用を推進し、柔軟な勤務形態の環境整備に努めた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

診療体制の強化や、診療報酬改定等の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 5項目 【評価 S：0、A：4、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ 新たな施設基準の取得や見直しによる増収を図った。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。
- ・ 現金支払い・クレジットカード支払いに加え、後払いサービスを導入し、支払い方法を増やすことで患者の利便性を向上させた。
- ・ 後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに目標値を上回ることができた。また、バイオ医薬品については、後続品のバイオシミラーへの切り替えを実施した。

第3 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び診療所を含む病院機構全体で修正営業収支比率については目標値を上回ることができた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：0、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院機構全体で、修正営業収支比率 95.6%と目標値を上回った。(目標値 95%以上)

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定 S「年度計画に対する実績は計画を大幅に上回っている。」

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：1、A：0、B：0、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

第5 剰余金の使途

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：1、B：0、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院施設等の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。

第6 料金に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行った。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：0、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収した。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

地域の医療ニーズ、医療技術の進展等を総合的に判断し、診療提供体制の検討・整備等を図った。

ウ 評価した項目

① 項目数 4項目 【評価 S：0、A：1、B：3、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・庄内地域における急速な人口減少・少子高齢化や地域医療構想等を踏まえ、病床40床廃止し病院機能の効率的な運用を図った。
- ・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。
- ・職員が業務に専念できるよう、院内保育所及び病児・病後児保育事業を継続して実施した。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和6年度の業務実績に関する評価基準

1 令和6年度業務の実績に関する評価の基本方針

令和6年度計画の業務の実績について自己評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の状況について行う「全体評価」の2つを併せて行うものとする。

(1) 項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する。
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する。
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する。

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する。

(判定基準)

「S」：計画を大幅に上回っている（目標数値 110%超）

「A」：計画を上回っている（目標数値 100%超 110%以下）

「B」：計画に概ね合致している（目標数値 90%超 100%以下）

「C」：計画をやや下回っている（目標数値 60%超 90%以下）

「D」：計画を下回っており、大幅な改善が必要（目標数値 60%以下）

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

令和6年度 業務実績 項目別自己評価シート

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和6年度 業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」: 計画を上回っている 「B」: 計画に概ね合致している 「C」: 計画をやや下回っている 「D」: 計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人における自己評価																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																					
第1 中期計画の期間																																																											
令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間とする。																																																											
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																																										
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。 また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。 また、今後の医療ニーズの変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。																																																										
(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。	(山形県・酒田市病院機構 基本理念) 思いやりの心を大切にします。 質の向上に努め、安全な医療を提供します。 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。																																																										
1 医療機能の分化・連携の推進																																																											
	山形県地域医療構想の方向性を踏まえ、庄内地域の中核的な医療機関として、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等により地域の医療機関等との機能分担・連携を推進し、地域医療構想の達成と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。	・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等の取り組みを通して、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。	S			S	S																																																				
		【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流 <table><tr><th>出向元</th><th>出向先</th><th>職種</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td rowspan="4">医師</td><td>4名</td><td>平日診療</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td>8名</td><td>水・土・日の宿日直、在宅往診の応援</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>継和会</td><td>1名</td><td>外来応援(毎週木曜日の午後)</td></tr><tr><td>医師会</td><td>病院機構</td><td>9名</td><td>木・土の宿日直</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td rowspan="4">看護師</td><td>5名</td><td>透析室</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>宏友会</td><td>4名</td><td>診療所、老健</td></tr><tr><td>健友会</td><td>病院機構</td><td>1名</td><td>手術室</td></tr><tr><td>継和会</td><td>病院機構</td><td>2名</td><td>心臓リハビリ研修</td></tr><tr><td>病院機構</td><td>健友会</td><td>診療放射線技師</td><td>1名</td><td>休職者の応援</td></tr><tr><td>継和会</td><td>病院機構</td><td>事務</td><td>1名</td><td>心臓リハビリ研修</td></tr></table> 【実績】日本海ヘルスケアネット看護管理者ネットワーク会議 <table><tr><th>活動項目</th><th>活動内容</th></tr><tr><td>「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容:各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施</td><td>令和6年5月24日開催 場所:山容病院 令和6年8月23日開催 場所:養護老人ホームかたばみの家 令和6年12月6日開催 場所:本間病院 見学を通して施設ごとの課題や実情を共有し、管理者として人材確保等や施設間における患者・利用者の受け入れの課題等、幅広く具体的な意見交換を実施した</td></tr><tr><td>「この地域を感染から守る」 内容:感染症対応等、タイムリーに情報交換し、感染拡大を防止する</td><td>チャット等を通じた情報共有と意見交換により、拡大防止と迅速な対応に繋げた</td></tr><tr><td>「北庄内地域の食支援の質の向上」 内容:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し、実践することで、誤嚥性肺炎が減少する</td><td>取組後の現状を共有し、OHAT(口腔健康評価ツール)の更なる定着化や今後の課題について検討した</td></tr></table> 【実績】日本海ヘルスケアネット介護ワーキング 介護報酬改定の動向やDX推進等の取り組みについてレベルアップを図るべく、共同研修を開催 令和6年4月8日開催:『介護報酬の全容と加算に込められたねらい』 令和6年4月26日開催:『ちようかいネットの概要について』 令和6年10月17日開催:『介護テクノロジーと27年を見据えた動き』	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	病院機構	医師	4名	平日診療	病院機構	健友会	8名	水・土・日の宿日直、在宅往診の応援	病院機構	継和会	1名	外来応援(毎週木曜日の午後)	医師会	病院機構	9名	木・土の宿日直	病院機構	健友会	看護師	5名	透析室	病院機構	宏友会	4名	診療所、老健	健友会	病院機構	1名	手術室	継和会	病院機構	2名	心臓リハビリ研修	病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	休職者の応援	継和会	病院機構	事務	1名	心臓リハビリ研修	活動項目	活動内容	「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容:各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施	令和6年5月24日開催 場所:山容病院 令和6年8月23日開催 場所:養護老人ホームかたばみの家 令和6年12月6日開催 場所:本間病院 見学を通して施設ごとの課題や実情を共有し、管理者として人材確保等や施設間における患者・利用者の受け入れの課題等、幅広く具体的な意見交換を実施した	「この地域を感染から守る」 内容:感染症対応等、タイムリーに情報交換し、感染拡大を防止する	チャット等を通じた情報共有と意見交換により、拡大防止と迅速な対応に繋げた	「北庄内地域の食支援の質の向上」 内容:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し、実践することで、誤嚥性肺炎が減少する	取組後の現状を共有し、OHAT(口腔健康評価ツール)の更なる定着化や今後の課題について検討した
出向元	出向先	職種	人数	備考																																																							
健友会	病院機構	医師	4名	平日診療																																																							
病院機構	健友会		8名	水・土・日の宿日直、在宅往診の応援																																																							
病院機構	継和会		1名	外来応援(毎週木曜日の午後)																																																							
医師会	病院機構		9名	木・土の宿日直																																																							
病院機構	健友会	看護師	5名	透析室																																																							
病院機構	宏友会		4名	診療所、老健																																																							
健友会	病院機構		1名	手術室																																																							
継和会	病院機構		2名	心臓リハビリ研修																																																							
病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	休職者の応援																																																							
継和会	病院機構	事務	1名	心臓リハビリ研修																																																							
活動項目	活動内容																																																										
「施設見学を通じた顔の見える関係作り」 内容:各参加施設の見学を通じて、課題について意見交換等の実施	令和6年5月24日開催 場所:山容病院 令和6年8月23日開催 場所:養護老人ホームかたばみの家 令和6年12月6日開催 場所:本間病院 見学を通して施設ごとの課題や実情を共有し、管理者として人材確保等や施設間における患者・利用者の受け入れの課題等、幅広く具体的な意見交換を実施した																																																										
「この地域を感染から守る」 内容:感染症対応等、タイムリーに情報交換し、感染拡大を防止する	チャット等を通じた情報共有と意見交換により、拡大防止と迅速な対応に繋げた																																																										
「北庄内地域の食支援の質の向上」 内容:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し、実践することで、誤嚥性肺炎が減少する	取組後の現状を共有し、OHAT(口腔健康評価ツール)の更なる定着化や今後の課題について検討した																																																										

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定				前年度計画 法人における自己評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																								
2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上																																														
(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化																																														
① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実等、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。 入退院支援センターの活用や診療情報の共有化等により、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。 ◆日本海総合病院（令和6年4月1日現在） <table><tr><th>項 目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td rowspan="4">許可病床数</td><td>一般病床</td><td>626床</td><td>586床</td><td>586床</td></tr><tr><td>病床廃止</td><td>△40床</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>感染症病床</td><td>4床</td><td>4床</td><td>4床</td></tr><tr><td>合 計</td><td>590床</td><td>590床</td><td>590床</td></tr><tr><td rowspan="3">一般病床の機能別内訳</td><td>高度急性期</td><td>123床</td><td>123床</td><td>123床</td></tr><tr><td>急性期</td><td>463床</td><td>463床</td><td>463床</td></tr><tr><td>休床</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>586床</td><td>586床</td><td>586床</td><td>586床</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td colspan="4">・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症患者医療センター ・臨床研修病院 </td></tr></table>		項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	許可病床数	一般病床	626床	586床	586床	病床廃止	△40床	—	—	感染症病床	4床	4床	4床	合 計	590床	590床	590床	一般病床の機能別内訳	高度急性期	123床	123床	123床	急性期	463床	463床	463床	休床	—	—	—		586床	586床	586床	586床	診療機能等	・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症患者医療センター ・臨床研修病院			
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																										
許可病床数	一般病床	626床	586床	586床																																										
	病床廃止	△40床	—	—																																										
	感染症病床	4床	4床	4床																																										
	合 計	590床	590床	590床																																										
一般病床の機能別内訳	高度急性期	123床	123床	123床																																										
	急性期	463床	463床	463床																																										
	休床	—	—	—																																										
	586床	586床	586床	586床																																										
診療機能等	・救命救急センター（ICU、HCU） ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症患者医療センター ・臨床研修病院																																													

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定				前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																																			
② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。	② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。	・日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担い、回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供し、慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行った。	S			S	S																																																																		
◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和6年4月1日現在)	◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和6年4月1日現在)	◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和6年4月1日現在)																																																																							
<table><tr><th>項 目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>許可病床数</td><td>療養病床 114床</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td>合 計</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td rowspan="3">療養病床の機能別内訳</td><td>回復期</td><td>79床</td><td>79床</td><td>79床</td></tr><tr><td>慢性期</td><td>35床</td><td>35床</td><td>35床</td></tr><tr><td>休床</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td><td>114床</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td colspan="4">・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr></table>	項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	許可病床数	療養病床 114床	114床	114床	114床	合 計	114床	114床	114床	114床	療養病床の機能別内訳	回復期	79床	79床	79床	慢性期	35床	35床	35床	休床	—	—	—		114床	114床	114床	114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など				<table><tr><th>項 目</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>許可病床数</td><td>療養病床 114床</td></tr><tr><td>合 計</td><td>114床</td></tr><tr><td rowspan="3">療養病床の機能別内訳</td><td>回復期 79床</td></tr><tr><td>慢性期 35床</td></tr><tr><td>休床 —</td></tr><tr><td></td><td>114床</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr></table>	項 目	令和6年度	許可病床数	療養病床 114床	合 計	114床	療養病床の機能別内訳	回復期 79床	慢性期 35床	休床 —		114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	<table><tr><th>項 目</th><th>概 要</th></tr><tr><td>許可病床数</td><td>療養病床 114床</td></tr><tr><td>合 計</td><td>114床</td></tr><tr><td rowspan="3">療養病床の機能別内訳</td><td>回復期 79床</td></tr><tr><td>慢性期 35床</td></tr><tr><td>—</td></tr><tr><td></td><td>114床</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr></table>	項 目	概 要	許可病床数	療養病床 114床	合 計	114床	療養病床の機能別内訳	回復期 79床	慢性期 35床	—		114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など					
項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																					
許可病床数	療養病床 114床	114床	114床	114床																																																																					
合 計	114床	114床	114床	114床																																																																					
療養病床の機能別内訳	回復期	79床	79床	79床																																																																					
	慢性期	35床	35床	35床																																																																					
	休床	—	—	—																																																																					
	114床	114床	114床	114床																																																																					
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																																																								
項 目	令和6年度																																																																								
許可病床数	療養病床 114床																																																																								
合 計	114床																																																																								
療養病床の機能別内訳	回復期 79床																																																																								
	慢性期 35床																																																																								
	休床 —																																																																								
	114床																																																																								
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																																																								
項 目	概 要																																																																								
許可病床数	療養病床 114床																																																																								
合 計	114床																																																																								
療養病床の機能別内訳	回復期 79床																																																																								
	慢性期 35床																																																																								
	—																																																																								
	114床																																																																								
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																																																								
(注) 許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。	(注) 許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。	(注) 許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。																																																																							
(注) 療養病床の機能別内訳は中期計画策定時点での見込みであり、各年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。	(注) 一般病床の機能別内訳は年度計画策定時点での見込みであり、当該年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。	(注) 一般病床の機能別内訳は年度計画策定時点での見込みであり、当該年度の病床機能報告数とは一致しない場合がある。																																																																							
【目標】日本海酒田リハビリテーション病院	【目標】日本海酒田リハビリテーション病院	【実績】回復期リハビリテーション実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)																																																																							
<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>毎年度40点以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	<table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>40点以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	40点以上	<table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>40点以上</td><td>49.7点</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	40点以上	49.7点	○																																																							
目標とする指標	目標値																																																																								
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																																																								
目標とする指標	目標値																																																																								
回復期リハビリテーション実績指数	40点以上																																																																								
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																					
40点以上	49.7点	○																																																																							

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																																																																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																																																																																																						
③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療ニーズを考慮した体制でへき地医療を提供する。	③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療ニーズを考慮した体制でへき地医療を提供する。	・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療ニーズを考慮した体制でへき地医療を提供した。 ・日本海八幡クリニックでは、木・金曜日延長診療、土曜診療及び訪問診療の実施並びに訪問看護ステーションの運営を行った。令和6年5月より医療MaaSによるオンライン診療を開始し、医療提供体制の拡充を図った。 ・松山診療所では、月・水曜日及び隔週金曜日の診療を行った。 ・飛鳥診療所では、日本海総合病院の医師による出張診療や遠隔診療を行うことで、必要な医療が確保されるよう努めた。		A			B	B																																																																																																																																				
◆日本海八幡クリニック（令和6年4月1日現在） <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）</td></tr></table>	項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）	◆日本海八幡クリニック（令和6年4月1日現在） <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）</td></tr></table>	項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）	◆日本海八幡クリニック（令和6年4月1日現在） <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）</td></tr></table> 【実績】日本海八幡クリニック <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>16,355名</td><td>16,315名</td><td>15,026名</td><td>14,797名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>55.6名</td><td>56.1名</td><td>50.5名</td><td>50.7名</td></tr></table> 【実績】訪問看護ステーションやわた <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>3,193名</td><td>3,501名</td><td>3,817名</td><td>4,885名</td></tr><tr><td>1日平均利用者数</td><td>9.4名</td><td>10.1名</td><td>10.8名</td><td>13.7名</td></tr></table> ◆升田診療所、青沢診療所（令和6年4月1日現在） <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr></table> 【実績】升田診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※令和3～6年度受診希望者なし 【実績】青沢診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>62名</td><td>69名</td><td>55名</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>5.2名</td><td>5.8名</td><td>5.5名</td><td>—</td></tr></table> ※令和6年度受診希望者なし ◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所（令和6年4月1日現在） <table><tr><td>項 目</td><td>概 要</td></tr><tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr><tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr></table> 【実績】松山診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>3,456名</td><td>2,929名</td><td>2,739名</td><td>2,652名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>14.6名</td><td>18.5名</td><td>25.3名</td><td>23.9名</td></tr></table> 【実績】地見興屋診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>111名</td><td>88名</td><td>95名</td><td>—</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>2.9名</td><td>4.4名</td><td>6.3名</td><td>—</td></tr></table> ※令和6年度受診希望者なし 【実績】飛鳥診療所 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>延外来患者数</td><td>458名</td><td>422名</td><td>401名</td><td>394名</td></tr><tr><td>1日平均外来患者数</td><td>2.6名</td><td>2.7名</td><td>2.7名</td><td>3.2名</td></tr></table>		項 目	概 要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	16,355名	16,315名	15,026名	14,797名	1日平均外来患者数	55.6名	56.1名	50.5名	50.7名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延利用者数	3,193名	3,501名	3,817名	4,885名	1日平均利用者数	9.4名	10.1名	10.8名	13.7名	項 目	概 要	標榜科	内科	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	—	—	—	—	1日平均外来患者数	—	—	—	—	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	62名	69名	55名	—	1日平均外来患者数	5.2名	5.8名	5.5名	—	項 目	概 要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	3,456名	2,929名	2,739名	2,652名	1日平均外来患者数	14.6名	18.5名	25.3名	23.9名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	111名	88名	95名	—	1日平均外来患者数	2.9名	4.4名	6.3名	—	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	延外来患者数	458名	422名	401名	394名	1日平均外来患者数	2.6名	2.7名	2.7名	3.2名				
項 目	概 要																																																																																																																																											
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																											
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）																																																																																																																																											
項 目	概 要																																																																																																																																											
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																											
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）																																																																																																																																											
項 目	概 要																																																																																																																																											
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																											
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護（介護保険事業を含む）																																																																																																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	16,355名	16,315名	15,026名	14,797名																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	55.6名	56.1名	50.5名	50.7名																																																																																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延利用者数	3,193名	3,501名	3,817名	4,885名																																																																																																																																								
1日平均利用者数	9.4名	10.1名	10.8名	13.7名																																																																																																																																								
項 目	概 要																																																																																																																																											
標榜科	内科																																																																																																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	62名	69名	55名	—																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	5.2名	5.8名	5.5名	—																																																																																																																																								
項 目	概 要																																																																																																																																											
標榜科	内科、外科																																																																																																																																											
診療機能等	松山診療所：訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	3,456名	2,929名	2,739名	2,652名																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	14.6名	18.5名	25.3名	23.9名																																																																																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	111名	88名	95名	—																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	2.9名	4.4名	6.3名	—																																																																																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																								
延外来患者数	458名	422名	401名	394名																																																																																																																																								
1日平均外来患者数	2.6名	2.7名	2.7名	3.2名																																																																																																																																								

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定				前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																																		
ア 診療体制の充実																																																																								
(ア)救急医療																																																																								
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援する。		庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努めるとともに、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、一次救急医療体制を支援する。	・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については、一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。 【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院) <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>19,861名</td><td>19,662名</td><td>20,500名</td><td>19,608名</td></tr></table> 【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数(日本海総合病院) <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>131名</td><td>98名</td><td>89名</td><td>83名</td></tr></table> 【実績】救急車の搬送数(日本海総合病院) <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td rowspan="2">酒田地区</td><td>医療機関への搬送数 計</td><td>5,106名</td><td>5,418名</td><td>6,001名</td><td>5,741名</td></tr><tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>3,133名</td><td>3,645名</td><td>3,927名</td><td>3,482名</td></tr><tr><td rowspan="2">鶴岡地区</td><td>医療機関への搬送数 計</td><td>5,161名</td><td>5,334名</td><td>5,701名</td><td>5,507名</td></tr><tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>337名</td><td>314名</td><td>460名</td><td>484名</td></tr></table> <table><tr><td>庄内地域での日本海総合病院の割合</td><td>33.8%</td><td>36.8%</td><td>37.5%</td><td>35.3%</td></tr></table> <table><tr><td>救急搬送受入要請の応需率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></table> ・目標とする地域救急貢献率は、大幅に上回ることができた。 【実績】地域救急貢献率(日本海総合病院) <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>32%以上</td><td>35.3%</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	19,861名	19,662名	20,500名	19,608名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	131名	98名	89名	83名	区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	酒田地区	医療機関への搬送数 計	5,106名	5,418名	6,001名	5,741名	うち日本海総合病院への搬送数	3,133名	3,645名	3,927名	3,482名	鶴岡地区	医療機関への搬送数 計	5,161名	5,334名	5,701名	5,507名	うち日本海総合病院への搬送数	337名	314名	460名	484名	庄内地域での日本海総合病院の割合	33.8%	36.8%	37.5%	35.3%	救急搬送受入要請の応需率	100%	100%	100%	100%	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	32%以上	35.3%	○						A	A
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																					
19,861名	19,662名	20,500名	19,608名																																																																					
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																					
131名	98名	89名	83名																																																																					
区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																			
酒田地区	医療機関への搬送数 計	5,106名	5,418名	6,001名	5,741名																																																																			
	うち日本海総合病院への搬送数	3,133名	3,645名	3,927名	3,482名																																																																			
鶴岡地区	医療機関への搬送数 計	5,161名	5,334名	5,701名	5,507名																																																																			
	うち日本海総合病院への搬送数	337名	314名	460名	484名																																																																			
庄内地域での日本海総合病院の割合	33.8%	36.8%	37.5%	35.3%																																																																				
救急搬送受入要請の応需率	100%	100%	100%	100%																																																																				
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																				
32%以上	35.3%	○																																																																						

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類 似項目の評価																																																																							
(イ)がん医療																																																																													
患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制のもと、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、キャンサーボードを定期的に開催する。	・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法等の集学的治療を継続して行った。 ・放射線療法においては、より適切で効果的ながん医療の提供により、強度変調放射線治療（IMRT）、定位放射線治療（SRT）といった高度な治療を行った。 ・外来での化学療法治療の質の向上に努め、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の保険薬局の薬剤師等を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備した。 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>手術</td><td>1,167件</td><td>1,156件</td><td>1,220件</td><td>1,250件</td></tr><tr><td>放射線療法 （実件数）</td><td>6,577件 （240件）</td><td>6,582件 （184件）</td><td>6,119件 （176件）</td><td>5,510件 （139件）</td></tr><tr><td>うちIMRT （実件数）</td><td>－</td><td>2,639件 （73件）</td><td>2,825件 （86件）</td><td>2,723件 （102件）</td></tr><tr><td>うちSRT （実件数）</td><td>30件 （9件）</td><td>27件 （9件）</td><td>28件 （8件）</td><td>75件 （7件）</td></tr><tr><td>外来化学療法</td><td>7,730件</td><td>7,503件</td><td>8,141件</td><td>8,475件</td></tr></table> 【実績】地域の保険薬局薬剤師を対象とした研修会の実施（日本海総合病院） <table><tr><th>実施日</th><th>内 容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年4月25日</td><td>連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他</td><td>51名</td></tr><tr><td>令和6年8月22日</td><td>連携充実加算に伴う研修会 「連携充実加算について」他</td><td>43名</td></tr></table> ・より適切ながん医療を提供するために山形大学医学部附属病院腫瘍内科医師を招集し他職種による検討を行うキャンサーボードを定期的に開催するとともに、がんゲノム検討会を開催し58件の検討を行った。 【実績】キャンサーボード実績（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>回数</td><td>26回</td><td>37回</td><td>34回</td><td>21回</td></tr><tr><td>症例数</td><td>163症例</td><td>141症例</td><td>152症例</td><td>72症例</td></tr></table> ・がんゲノム医療連携病院として、遺伝子パネル検査を継続して行い、一人ひとりに適した治療法の提案に努めた。 【実績】遺伝子パネル検査実施件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>55件</td><td>75件</td><td>84件</td><td>72件</td></tr></table> ・がん相談支援センターにおいて、がんの治療、セカンドオピニオン、在宅療養、医療費などについての相談に応じ、がんの治療にかかわる不安や悩みの解決をサポートした。 【実績】がん相談件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>1,808件</td><td>1,384件</td><td>1,426件</td><td>1,307件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	手術	1,167件	1,156件	1,220件	1,250件	放射線療法 （実件数）	6,577件 （240件）	6,582件 （184件）	6,119件 （176件）	5,510件 （139件）	うちIMRT （実件数）	－	2,639件 （73件）	2,825件 （86件）	2,723件 （102件）	うちSRT （実件数）	30件 （9件）	27件 （9件）	28件 （8件）	75件 （7件）	外来化学療法	7,730件	7,503件	8,141件	8,475件	実施日	内 容	参加人数	令和6年4月25日	連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他	51名	令和6年8月22日	連携充実加算に伴う研修会 「連携充実加算について」他	43名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	回数	26回	37回	34回	21回	症例数	163症例	141症例	152症例	72症例	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	55件	75件	84件	72件	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	1,808件	1,384件	1,426件	1,307件	A			A	A
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
手術	1,167件	1,156件	1,220件	1,250件																																																																									
放射線療法 （実件数）	6,577件 （240件）	6,582件 （184件）	6,119件 （176件）	5,510件 （139件）																																																																									
うちIMRT （実件数）	－	2,639件 （73件）	2,825件 （86件）	2,723件 （102件）																																																																									
うちSRT （実件数）	30件 （9件）	27件 （9件）	28件 （8件）	75件 （7件）																																																																									
外来化学療法	7,730件	7,503件	8,141件	8,475件																																																																									
実施日	内 容	参加人数																																																																											
令和6年4月25日	連携充実加算に伴う研修会 「抗がん薬に対する副作用と対策」他	51名																																																																											
令和6年8月22日	連携充実加算に伴う研修会 「連携充実加算について」他	43名																																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
回数	26回	37回	34回	21回																																																																									
症例数	163症例	141症例	152症例	72症例																																																																									
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																										
55件	75件	84件	72件																																																																										
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																										
1,808件	1,384件	1,426件	1,307件																																																																										
	② 緩和ケアセンターを中心に、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。	・適切な緩和ケアの早期提供のため、緩和ケアスクリーニングを行い、緩和ケア医療の充実に努めた。 【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>入院</td><td>4,300件</td><td>4,368件</td><td>4,297件</td><td>4,624件</td></tr><tr><td>外来</td><td>671件</td><td>658件</td><td>633件</td><td>715件</td></tr></table> ・医師及び多職種に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療提供の体制強化に努めた。 【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（日本海総合病院） <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>受講医師数</td><td>112名</td><td>104名</td><td>101名</td><td>112名</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	入院	4,300件	4,368件	4,297件	4,624件	外来	671件	658件	633件	715件	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	受講医師数	112名	104名	101名	112名																																																		
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
入院	4,300件	4,368件	4,297件	4,624件																																																																									
外来	671件	658件	633件	715件																																																																									
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
受講医師数	112名	104名	101名	112名																																																																									

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人における自己 評価																																																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																																																							
	③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名、初級認定者を専任として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。 【実績】がん登録件数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>対象年</td><td>2020年症例</td><td>2021年症例</td><td>2022年症例</td><td>2023年症例</td></tr><tr><td>院内がん登録</td><td>1,881件</td><td>1,961件</td><td>1,954件</td><td>2,005件</td></tr><tr><td>全国がん登録</td><td>1,891件</td><td>1,969件</td><td>1,964件</td><td>2,013件</td></tr></table> <table><tr><td>庄内地域 院内がん登録合計 ※</td><td>2,368件</td><td>2,892件</td><td>2,855件</td><td>2,870件</td></tr><tr><td>庄内地域での日本海総合病院の割合 ※</td><td>79.4%</td><td>67.8%</td><td>68.4%</td><td>69.8%</td></tr></table> ※国立がん研究センター院内がん登録全国集計から算出		区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対象年	2020年症例	2021年症例	2022年症例	2023年症例	院内がん登録	1,881件	1,961件	1,954件	2,005件	全国がん登録	1,891件	1,969件	1,964件	2,013件	庄内地域 院内がん登録合計 ※	2,368件	2,892件	2,855件	2,870件	庄内地域での日本海総合病院の割合 ※	79.4%	67.8%	68.4%	69.8%																																												
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
対象年	2020年症例	2021年症例	2022年症例	2023年症例																																																																									
院内がん登録	1,881件	1,961件	1,954件	2,005件																																																																									
全国がん登録	1,891件	1,969件	1,964件	2,013件																																																																									
庄内地域 院内がん登録合計 ※	2,368件	2,892件	2,855件	2,870件																																																																									
庄内地域での日本海総合病院の割合 ※	79.4%	67.8%	68.4%	69.8%																																																																									
(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患																																																																													
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td colspan="2">令和3年度</td><td colspan="2">令和4年度</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td></tr><tr><td>脳血管</td><td>763名</td><td>45,582回</td><td>851名</td><td>48,047回</td><td>821名</td><td>45,537回</td><td>734名</td><td>40,146回</td></tr><tr><td>心大血管</td><td>639名</td><td>10,849回</td><td>638名</td><td>9,731回</td><td>652名</td><td>8,944回</td><td>658名</td><td>8,578回</td></tr></table> 【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td colspan="2">令和3年度</td><td colspan="2">令和4年度</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td><td>実患者数</td><td>回数</td></tr><tr><td>脳血管</td><td>695名</td><td>5,660回</td><td>612名</td><td>2,706回</td><td>661名</td><td>3,956回</td><td>609名</td><td>4,177回</td></tr><tr><td>心大血管</td><td>440名</td><td>1,213回</td><td>395名</td><td>757回</td><td>400名</td><td>956回</td><td>429名</td><td>901回</td></tr></table>		区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	763名	45,582回	851名	48,047回	821名	45,537回	734名	40,146回	心大血管	639名	10,849回	638名	9,731回	652名	8,944回	658名	8,578回	区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	695名	5,660回	612名	2,706回	661名	3,956回	609名	4,177回	心大血管	440名	1,213回	395名	757回	400名	956回	429名	901回	A		A	A
区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度																																																																						
実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																						
脳血管	763名	45,582回	851名	48,047回	821名	45,537回	734名	40,146回																																																																					
心大血管	639名	10,849回	638名	9,731回	652名	8,944回	658名	8,578回																																																																					
区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度																																																																						
実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																						
脳血管	695名	5,660回	612名	2,706回	661名	3,956回	609名	4,177回																																																																					
心大血管	440名	1,213回	395名	757回	400名	956回	429名	901回																																																																					
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を維持する。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を維持する。	・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・コメディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。 【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>血栓回収療法</td><td>5件</td><td>4件</td><td>11件</td><td>13件</td></tr><tr><td>t-PA</td><td>26件</td><td>18件</td><td>24件</td><td>28件</td></tr></table>		区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	血栓回収療法	5件	4件	11件	13件	t-PA	26件	18件	24件	28件																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
血栓回収療法	5件	4件	11件	13件																																																																									
t-PA	26件	18件	24件	28件																																																																									
③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。 【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院) <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>348件</td><td>357件</td><td>469件</td><td>409件</td></tr></table> ・急性心筋梗塞の救急搬送患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを運用した。 【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>急性心筋梗塞に対するもの</td><td>42件</td><td>44件</td><td>64件</td><td>61件</td></tr></table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	348件	357件	469件	409件	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	急性心筋梗塞に対するもの	42件	44件	64件	61件																																																								
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																										
348件	357件	469件	409件																																																																										
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																									
急性心筋梗塞に対するもの	42件	44件	64件	61件																																																																									

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																																					
(エ)糖尿病																																																																											
医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	・医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を継続して行った。 【実績】糖尿病教室(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>10回</td><td>13回</td><td>3回</td><td>15回</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>28名</td><td>34名</td><td>6名</td><td>46名</td></tr></table> 【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>実患者数</td><td>5名</td><td>3名</td><td>11名</td><td>11名</td></tr><tr><td>指導回数</td><td>25回</td><td>10回</td><td>42回</td><td>54回</td></tr></table> 【実績】教育入院患者数(日本海総合病院) <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>239名</td><td>217名</td><td>156名</td><td>94名</td></tr></table> 【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>入院</td><td>2,715</td><td>2,462</td><td>2,517</td><td>2,751</td></tr><tr><td>外来</td><td>926</td><td>970</td><td>792</td><td>895</td></tr><tr><td>外来化学療法</td><td>—</td><td>—</td><td>135</td><td>17</td></tr></table> ・目標とする糖尿病教室の開催回数については、大幅に上回ることができた。 【実績】糖尿病教室(日本海総合病院) <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>12回以上</td><td>15回</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	開催回数	10回	13回	3回	15回	参加人数	28名	34名	6名	46名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実患者数	5名	3名	11名	11名	指導回数	25回	10回	42回	54回	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	239名	217名	156名	94名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	入院	2,715	2,462	2,517	2,751	外来	926	970	792	895	外来化学療法	—	—	135	17	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	12回以上	15回	○			S			B	B
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
開催回数	10回	13回	3回	15回																																																																							
参加人数	28名	34名	6名	46名																																																																							
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
実患者数	5名	3名	11名	11名																																																																							
指導回数	25回	10回	42回	54回																																																																							
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																								
239名	217名	156名	94名																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
入院	2,715	2,462	2,517	2,751																																																																							
外来	926	970	792	895																																																																							
外来化学療法	—	—	135	17																																																																							
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																							
12回以上	15回	○																																																																									
(オ)精神疾患																																																																											
地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療等、総合病院として担うべき精神医療を提供する。	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療等、総合病院として担うべき精神医療を提供する。	・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療等、総合病院として担うべき医療を提供した。 【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数 <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>51名</td><td>64名</td><td>84名</td><td>66名</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	51名	64名	84名	66名	B			B	B																																																												
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																								
51名	64名	84名	66名																																																																								
(カ)小児・周産期医療																																																																											
① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。また、庄内地域における不妊治療の拡充を図るため、日本海総合病院内に新たに不妊治療の提供体制を構築する。	① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。	・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応等、周産期に係る高度な産科医療を提供した。 【実績】母体・新生児救急受入れ患者数等状況(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>母体</td><td>17名</td><td>10名</td><td>15名</td><td>9名</td></tr><tr><td>新生児</td><td>10名</td><td>4名</td><td>3名</td><td>1名</td></tr><tr><td>緊急帝王切開術</td><td>33件</td><td>56件</td><td>46件</td><td>38件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	母体	17名	10名	15名	9名	新生児	10名	4名	3名	1名	緊急帝王切開術	33件	56件	46件	38件	A			A	A																																																
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
母体	17名	10名	15名	9名																																																																							
新生児	10名	4名	3名	1名																																																																							
緊急帝王切開術	33件	56件	46件	38件																																																																							
	② 庄内地域における不妊治療の拡充を図るため、日本海総合病院内に一般不妊治療及び生殖補助医療の提供体制を構築する。	・庄内地域における不妊治療体制の拡充を図るため、日本海総合病院における「生殖医療センター」を開設し、一般不妊治療に加えて庄内地域で唯一となる生殖補助医療の提供体制を構築した。これにより、庄内地域内で高度な生殖医療を受けられる環境の整備が進み、遠方からの通院負担の軽減、妊娠から出産まで一貫した医療提供による患者満足度の向上といった多面的な成果が今後見込まれる。 生殖医療センター診療開始日：一般不妊治療 令和7年4月7日 生殖補助医療 令和7年5月1日																																																																									
② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	③ 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、産後ケア等の子育て支援について自治体と連携を図る。また、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	・産婦人科専門医及び小児科専門医の体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。また、三次周産期医療機関との連携を図り、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。 【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>母体</td><td>7名</td><td>12名</td><td>7名</td><td>10名</td></tr><tr><td>新生児</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr></table> ・産後ケア事業において酒田市、遊佐町、庄内町、にかほ市に加え、令和6年度は三川町とも契約を結び、育児不安を抱える母親等を支援した。	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	母体	7名	12名	7名	10名	新生児	2名	2名	2名	2名																																																										
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
母体	7名	12名	7名	10名																																																																							
新生児	2名	2名	2名	2名																																																																							

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画法人における自己評価																																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																																																					
(キ)回復期リハビリテーション																																																																											
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者に加えて、廃用症候群の患者のADL(日常生活動作)を改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院) <table><tr><th colspan="2">令和3年度</th><th colspan="2">令和4年度</th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th></tr><tr><th>区 分</th><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th><th>実患者数</th><th>回数</th></tr><tr><td>脳血管リハ</td><td>237名</td><td>86,837回</td><td>245名</td><td>83,159回</td><td>229名</td><td>88,298回</td><td>170名</td><td>64,466回</td></tr><tr><td>運動器リハ</td><td>221名</td><td>57,168回</td><td>206名</td><td>57,561回</td><td>200名</td><td>59,931回</td><td>190名</td><td>48,565回</td></tr><tr><td>廃用症候群</td><td>35名</td><td>2,337回</td><td>22名</td><td>2,968回</td><td>29名</td><td>1,933回</td><td>47名</td><td>8,754回</td></tr></table>	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		区 分	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管リハ	237名	86,837回	245名	83,159回	229名	88,298回	170名	64,466回	運動器リハ	221名	57,168回	206名	57,561回	200名	59,931回	190名	48,565回	廃用症候群	35名	2,337回	22名	2,968回	29名	1,933回	47名	8,754回	A			A	A																								
令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度																																																																					
区 分	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																			
脳血管リハ	237名	86,837回	245名	83,159回	229名	88,298回	170名	64,466回																																																																			
運動器リハ	221名	57,168回	206名	57,561回	200名	59,931回	190名	48,565回																																																																			
廃用症候群	35名	2,337回	22名	2,968回	29名	1,933回	47名	8,754回																																																																			
(ク)在宅医療支援及び療養支援																																																																											
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。また、酒田市と連携し、地域における医療及び介護の総合的な確保の推進に努める。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、関係機関との連携を図り、入院初期から積極的に支援を行う。	・入退院支援センターにおいて、入院前より退院困難な要因の抽出を行い、経済的な問題等があれば、早期に社会福祉士へ情報提供、また、在宅療養への不安がある患者については、入院前から退院支援看護師が介護保険の説明等を行い、不安軽減に努めた。 ・入院後の退院支援においては、入退院支援センターの看護師、医療・福祉センターの社会福祉士が共同し、切れ目なくサービスが受けられるよう、地域の介護・福祉・医療機関等との連携を行った。退院困難の事例においては、多職種によるカンファレンスを行い、患者が住み慣れた地域での暮らし、患者家族が望む退院先を自己決定できるように支援を行った。 ・退院後においても、在宅療養で不安や問題が生じた際には、患者、家族からの相談にも応じ、在宅医や訪問看護、ケアマネジャー等とも情報共有を行い、継続した支援を実施した。 【実績】入院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院) <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>5,752名</td><td>5,525名</td><td>6,031名</td><td>6,661名</td></tr></table> 【実績】退院調整件数(日本海総合病院) <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>他病院</td><td>927件</td><td>994件</td><td>1,107件</td><td>1,175件</td></tr><tr><td>在宅</td><td>12,862件</td><td>12,351件</td><td>12,637件</td><td>12,351件</td></tr><tr><td>介護老人保健施設</td><td>134件</td><td>142件</td><td>93件</td><td>106件</td></tr><tr><td>介護老人福祉施設</td><td>106件</td><td>100件</td><td>162件</td><td>153件</td></tr><tr><td>ショートステイ</td><td>120件</td><td>135件</td><td>122件</td><td>91件</td></tr><tr><td>有料老人ホーム</td><td>261件</td><td>260件</td><td>192件</td><td>211件</td></tr><tr><td>その他</td><td>68件</td><td>50件</td><td>66件</td><td>103件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>14,478件</td><td>14,032件</td><td>14,379件</td><td>14,190件</td></tr></table> 【実績】在宅療養支援職員との連携件数(日本海総合病院) <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>介護支援連携指導件数</td><td>599件</td><td>477件</td><td>649件</td><td>659件</td></tr><tr><td>退院時共同指導件数</td><td>212件</td><td>149件</td><td>202件</td><td>150件</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5,752名	5,525名	6,031名	6,661名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	他病院	927件	994件	1,107件	1,175件	在宅	12,862件	12,351件	12,637件	12,351件	介護老人保健施設	134件	142件	93件	106件	介護老人福祉施設	106件	100件	162件	153件	ショートステイ	120件	135件	122件	91件	有料老人ホーム	261件	260件	192件	211件	その他	68件	50件	66件	103件	合 計	14,478件	14,032件	14,379件	14,190件	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	介護支援連携指導件数	599件	477件	649件	659件	退院時共同指導件数	212件	149件	202件	150件	A			A	A
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																								
5,752名	5,525名	6,031名	6,661名																																																																								
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
他病院	927件	994件	1,107件	1,175件																																																																							
在宅	12,862件	12,351件	12,637件	12,351件																																																																							
介護老人保健施設	134件	142件	93件	106件																																																																							
介護老人福祉施設	106件	100件	162件	153件																																																																							
ショートステイ	120件	135件	122件	91件																																																																							
有料老人ホーム	261件	260件	192件	211件																																																																							
その他	68件	50件	66件	103件																																																																							
合 計	14,478件	14,032件	14,379件	14,190件																																																																							
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																							
介護支援連携指導件数	599件	477件	649件	659件																																																																							
退院時共同指導件数	212件	149件	202件	150件																																																																							
	② 酒田市の在宅医療・介護連携支援室「ボンテ」と連携し、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、医療機関と介護事業者との連携強化を図る。	・地域における医療及び介護の連携強化と質向上を目的として、在宅医療・介護連携支援室「ボンテ」と連携し、以下のとおり研修会及び講演会等を開催した。また、3施設の個別の課題に対して日本海総合病院の認定看護師2名、専門看護師1名、社会福祉士1名を派遣し、教育・研修を実施することで各施設の課題解決に取り組んだ。 【実績】施設向け研修(日本海総合病院) <table><tr><th>研修種別</th><th>回数</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>医療サポート研修会</td><td>5回</td><td>380名</td></tr><tr><td>医療と介護の合同研修会</td><td>2回</td><td>184名</td></tr><tr><td>人的資源活用研修会</td><td>3回</td><td>49名</td></tr><tr><td>地域住民向け研修会(在宅ケア講演会)</td><td>1回</td><td>302名</td></tr></table>	研修種別	回数	参加人数	医療サポート研修会	5回	380名	医療と介護の合同研修会	2回	184名	人的資源活用研修会	3回	49名	地域住民向け研修会(在宅ケア講演会)	1回	302名																																																										
研修種別	回数	参加人数																																																																									
医療サポート研修会	5回	380名																																																																									
医療と介護の合同研修会	2回	184名																																																																									
人的資源活用研修会	3回	49名																																																																									
地域住民向け研修会(在宅ケア講演会)	1回	302名																																																																									
② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、在宅医療を行っている診療所等の患者で入院治療が必要となった患者の受入れ支援等を行う。	③ 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、在宅医療を行っている診療所等の患者で入院治療が必要となった患者の受入れ支援等を行う。	・在宅患者が安心して地域で療養できるよう、在宅医療を行っている診療所や介護施設等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入れを適切に行い、レスパイト入院を行った。 【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院) <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>28名</td><td>32名</td><td>36名</td><td>19名</td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	28名	32名	36名	19名																																																																	
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																								
28名	32名	36名	19名																																																																								

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																									
(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実																																															
へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。 また、遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地域において身体状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的に医療MaaS (Mobility as a Service)による医療提供体制の構築を図る。	① へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	・へき地医療等、地域医療の維持・確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図り、医療の提供を行った。 【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>日本海八幡クリニック</td><td>337件</td><td>347件</td><td>410件</td><td>433件</td></tr><tr><td>松山診療所</td><td>80件</td><td>52件</td><td>64件</td><td>59件</td></tr><tr><td>飛島診療所</td><td>15件</td><td>7件</td><td>5件</td><td>1件</td></tr></table> 【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>日本海八幡クリニック</td><td>132件</td><td>87件</td><td>82件</td><td>107件</td></tr><tr><td>松山診療所</td><td>22件</td><td>12件</td><td>18件</td><td>17件</td></tr><tr><td>飛島診療所</td><td>—</td><td>5件</td><td>2件</td><td>2件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	日本海八幡クリニック	337件	347件	410件	433件	松山診療所	80件	52件	64件	59件	飛島診療所	15件	7件	5件	1件	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	日本海八幡クリニック	132件	87件	82件	107件	松山診療所	22件	12件	18件	17件	飛島診療所	—	5件	2件	2件	A			A	A
	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																										
日本海八幡クリニック	337件	347件	410件	433件																																											
松山診療所	80件	52件	64件	59件																																											
飛島診療所	15件	7件	5件	1件																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																											
日本海八幡クリニック	132件	87件	82件	107件																																											
松山診療所	22件	12件	18件	17件																																											
飛島診療所	—	5件	2件	2件																																											
② 遠隔診療・オンライン診療等の活用を推進し、中山間地域において身体状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的に医療MaaS (Mobility as a Service)事業の導入を進める。	・遠隔診療・オンライン診療等を活用し、中山間地域において身体状況や交通手段の制約により通院が困難な患者に対し、医療MaaS (Mobility as a Service)事業を推進し、継続的な医療提供を実現したことで、受診率の向上や患者の治療中断防止といった成果が今後見込まれる。また、災害時には医療アクセスの確保に寄与し、被災地域における迅速な医療支援に貢献した。 【実績】医療MaaS・遠隔診療(日本海八幡クリニック) <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>日本海八幡クリニック医療MaaS</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>375名</td></tr><tr><td>飛島診療所遠隔診療</td><td>381名</td><td>320名</td><td>292名</td><td>217名</td></tr></table> ※令和6年5月より運用開始	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	日本海八幡クリニック医療MaaS	—	—	—	375名	飛島診療所遠隔診療	381名	320名	292名	217名																															
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																											
日本海八幡クリニック医療MaaS	—	—	—	375名																																											
飛島診療所遠隔診療	381名	320名	292名	217名																																											
イ 高度医療機器の計画的な更新・整備																																															
高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備を行う。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新・整備を行う。	・高度専門医療機関等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。 ・高度医療機器については、デジタルマンモグラフィシステム、内視鏡部門システム、不妊治療機器、デジタルX線TVシステム等、医療機器整備計画及び利用見込み並びに収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。	B				B	B																																							

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人における自己評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																				
ウ 災害時への対応																																										
災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。また、医療物資備蓄機能等を有する施設の整備について検討する。	① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また、医療物資備蓄機能等を有する施設の整備について検討する。	・災害拠点病院として機能するよう、動画配信による研修会、トリアージ研修会、机上訓練及び実働訓練を開催し、災害時の対応に備えた。	A			A	A																																			
	【実績】災害医療研修及び訓練(日本海総合病院) <table><tr><th>実施日</th><th>内 容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年5月30日～ 令和6年10月5日</td><td>(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ</td><td>699名</td></tr><tr><td>令和6年7月5日</td><td>(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"</td><td>104名</td></tr><tr><td>令和6年9月14日</td><td>(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練</td><td>162名</td></tr><tr><td>令和6年10月5日</td><td>(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練</td><td>207名</td></tr></table> ・災害時に必要な医療物資及び食料等の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。 【実績】医療物資等及び食料の備蓄(日本海総合病院) <table><tr><th>年度</th><th>内 容</th></tr><tr><td>令和6年度</td><td>アルファ米70箱、カロリーメイト60箱、ようかん10箱、野菜ジュース35箱、飲料水126箱</td></tr></table> 【実績】燃料等の優先納入契約に関する協定(日本海総合病院) <table><tr><th>締結日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>令和6年4月1日</td><td>災害時におけるA重油の優先供給に関する協定</td></tr><tr><td>令和6年4月1日</td><td>災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定</td></tr></table> 目標とする災害等に係る訓練及び研修会数については、目標値どおり実施することができた。 【実績】災害等に係る訓練及び研修会数(日本海総合病院) <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>4回以上</td><td>4回</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	実施日	内 容	参加人数	令和6年5月30日～ 令和6年10月5日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	699名	令和6年7月5日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"	104名	令和6年9月14日	(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練	162名	令和6年10月5日	(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練	207名	年度	内 容	令和6年度	アルファ米70箱、カロリーメイト60箱、ようかん10箱、野菜ジュース35箱、飲料水126箱	締結日	内 容	令和6年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定	令和6年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	4回以上	4回	○			② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	・令和6年7月25日の豪雨による酒田市八幡・松山地区の被害への対応のため、7月28日から30日に延べ15名のDMAT隊員を派遣し、避難所アセスメント・保健医療福祉調整支援を行った。 ・大規模地震時医療活動訓練(政府総合防災訓練)への参加や、庄内地域を震源地と想定した東北ブロックDMAT参集訓練時に、当院にDMAT活動拠点本部を設置し実災害への対応力向上を図った。また各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。 ・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管・点検等を実施し、緊急時に備えた。				
実施日	内 容	参加人数																																								
令和6年5月30日～ 令和6年10月5日	(災害医療研修会／動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	699名																																								
令和6年7月5日	(災害医療研修会／トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"	104名																																								
令和6年9月14日	(災害対応訓練／机上訓練) 災害机上訓練	162名																																								
令和6年10月5日	(災害対応訓練／実働訓練) 災害実働訓練	207名																																								
年度	内 容																																									
令和6年度	アルファ米70箱、カロリーメイト60箱、ようかん10箱、野菜ジュース35箱、飲料水126箱																																									
締結日	内 容																																									
令和6年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定																																									
令和6年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定																																									
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																						
4回以上	4回	○																																								

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	
エ 新興感染症等の健康危機への対応							
第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ確に 対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 また、新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備 え、平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染 対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制 の整備等に取り組むとともに、健康危機事象の発生時には、関 係機関と密接に連携しながら迅速な対応に努める。	① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ確 に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。	・第二種感染症指定医療機関として、結核をはじめとする感染症患者の診療を積極 的に実施し実患者数298名受け入れた。 ・感染経路別予防策に応じた対策を行い、適切な入院環境の提供に努めた。	S			S	S
	② 新興感染症の感染拡大等の健康危機事象の発生に備え、 平時から病床等の確保、感染防護具等の備蓄、院内感染対策 の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、検査体制の整 備等に取り組むとともに、健康危機事象の発生時には、関係機 関と密接に連携しながら迅速な対応に努める。	・山形県と医療措置協定を締結し、第一種協定指定医療機関として、流行初期から 患者の入院を受け入れる病床確保や個人防護具の備蓄を実施した。 ・有事に備えて、年間2回の院内感染対策研修会に加え、庄内保健所や鶴岡市立荘 内病院と共催で新興感染症等の発生を想定した合同訓練を行った。また、今年度新 たに仙台検疫所主催の新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。 ・IGT(感染制御チーム)及びAST(抗菌薬適正使用支援チーム)主催の感染対策地 域連携合同カンファレンスや保健所主催の庄内AMR(薬剤耐性)等対策ネットワー クへの参画により、平時から関係機関と顔の見える関係を築いた。					
【目標】日本海総合病院	【目標】日本海総合病院	【実績】感染対策に係る活動について(日本海総合病院)					
目標とする指標	目標値	実施日	内容	参加者			
新興感染症の発生を想定した研修又は訓練	毎年度2回以上	令和6年6月20日 9月19日 12月19日 令和7年3月6日 (オンライン開催)	感染対策地域連携合同カンファレンス ・参加施設からの報告 ・感染対策向上加算について ・抗菌薬適正使用について	・医療機関 ・薬剤師会及 び調剤薬局 ・高齢者施設 等 ・関係行政機 関			
		令和6年4月25日 6月25日 8月23日 10月21日 12月20日	庄内AMR(薬剤耐性)等ネットワークコアメンバー会議 ・感染症発生状況 ・庄内地域サーベイランス調査研究 ・流行中の感染症について ・VREについて ・サーベイランス事業参加について				
		令和7年2月20日	庄内AMR(薬剤耐性)等対策ネットワーク研修会				
		令和6年10月21日	・結核について				
		【実績】新興感染症の発生を想定した研修又は訓練(日本海総合病院)					
		実施日	内容	参加者			
		令和6年10月9日	検疫患者における新型インフルエンザ等対応訓練	・医療機関 ・関係行政機関 等			
		令和6年12月11日 (オンライン開催)	新興感染症等の発生を想定した合同訓練 ・PPE(個人防護具)の正しい着脱方法について ・新興感染症の初動対応及び平時の対応について				
		・目標である新興感染症の発生を想定した研修又は訓練について、目標値どおり実 施することができた。					
		【実績】新興感染症の発生を想定した研修又は訓練(日本海総合病院)					
		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		2回以上	2回	○			
オ 政策医療の実施							
① 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別 診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、 専門医療相談等を実施する。	① 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別 診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、 専門医療相談等を実施する。	・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑 別診断等を実施した。	B			B	B
		【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院)					
		区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		新規	442件	435件	435件	459件	
		継続	207件	250件	209件	245件	
② 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に 研修等を実施する。	② 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に 研修等を実施する。	・脳死下臓器移植について、山形県臓器移植推進機構の協力を得ながら、院内コー ディネーターを対象とした脳死下臓器移植等に係る研修を実施した。また、県主催の 院内コーディネーター連携会議にも参加した。	A			A	A
		【実績】臓器提供シミュレーション等臓器提供に関する研修(日本海総合病院)					
【目標】日本海総合病院	【目標】日本海総合病院	実施日	内容	参加人数			
目標とする指標	目標値	令和6年7月5日	他臓器提供施設の取り組みに係る事例研修	10名			
脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	毎年度1回以上						
		・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値ど おり実施することができた。					
		【実績】臓器シミュレーション等臓器提供に関する研修回数(日本海総合病院)					
		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		1回以上	1回	○			

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																																									
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類 似項目の評価																																																																																										
(2)医療従事者の確保及び資質向上																																																																																																
ア 医療従事者の確保・育成																																																																																																
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療従事者の適切な人員確保に努める。	・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師のほか医療職7職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。 【実績】採用者人数（令和6年度採用試験） <table><tr><th>職 種</th><th>受験者数</th><th>内定者数</th><th>令和7年4月入職数</th><th>備考</th></tr><tr><td>初期臨床研修医</td><td>31名</td><td>13名</td><td>13名</td><td></td></tr><tr><td>研修歯科医</td><td>4名</td><td>2名</td><td>2名</td><td></td></tr><tr><td>看護師</td><td>43名</td><td>35名</td><td>34名</td><td>国試不合格1名</td></tr><tr><td>薬剤師</td><td>4名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>国試不合格1名</td></tr><tr><td>臨床検査技師</td><td>2名</td><td>0名</td><td>0名</td><td></td></tr><tr><td>臨床放射線技師</td><td>5名</td><td>1名</td><td>1名</td><td></td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>7名</td><td>3名</td><td>3名</td><td></td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>3名</td><td>1名</td><td>1名</td><td></td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td><td>2名</td><td>2名</td><td></td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td>5名</td><td>2名</td><td>2名</td><td></td></tr><tr><td>社会福祉士</td><td>7名</td><td>2名</td><td>1名</td><td>国試不合格1名</td></tr><tr><td>計</td><td>114名</td><td>64名</td><td>61名</td><td></td></tr></table> ※事務職除く	職 種	受験者数	内定者数	令和7年4月入職数	備考	初期臨床研修医	31名	13名	13名		研修歯科医	4名	2名	2名		看護師	43名	35名	34名	国試不合格1名	薬剤師	4名	3名	2名	国試不合格1名	臨床検査技師	2名	0名	0名		臨床放射線技師	5名	1名	1名		理学療法士	7名	3名	3名		作業療法士	3名	1名	1名		言語聴覚士	3名	2名	2名		管理栄養士	5名	2名	2名		社会福祉士	7名	2名	1名	国試不合格1名	計	114名	64名	61名		S		S	S																									
職 種	受験者数	内定者数	令和7年4月入職数	備考																																																																																												
初期臨床研修医	31名	13名	13名																																																																																													
研修歯科医	4名	2名	2名																																																																																													
看護師	43名	35名	34名	国試不合格1名																																																																																												
薬剤師	4名	3名	2名	国試不合格1名																																																																																												
臨床検査技師	2名	0名	0名																																																																																													
臨床放射線技師	5名	1名	1名																																																																																													
理学療法士	7名	3名	3名																																																																																													
作業療法士	3名	1名	1名																																																																																													
言語聴覚士	3名	2名	2名																																																																																													
管理栄養士	5名	2名	2名																																																																																													
社会福祉士	7名	2名	1名	国試不合格1名																																																																																												
計	114名	64名	61名																																																																																													
② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	② 医師の働き方改革に対応するため、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	・医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するための環境を整備し、医師の負担軽減を図った。 【実績】特定行為実施件数 <table><tr><th>特定行為</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>侵襲的胸腔換気の設定の変更</td><td>182件</td><td>123件</td><td>110件</td><td>116件</td></tr><tr><td>人工呼吸器からの離脱</td><td>82件</td><td>6件</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>気管カニューレの交換</td><td>3件</td><td>—</td><td>—</td><td>6件</td></tr><tr><td>胃ろうカテーテル若しくは経ろうカテーテル又は胃ろうポタンの交換</td><td>42件</td><td>7件</td><td>24件</td><td>40件</td></tr><tr><td>経経ろうカテーテルの交換</td><td>7件</td><td>—</td><td>3件</td><td>1件</td></tr><tr><td>持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整</td><td>—</td><td>1件</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>持続点滴中の降圧剤の投与量の調整</td><td>—</td><td>2件</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1件</td></tr><tr><td>インスリン投与量の調整</td><td>—</td><td>—</td><td>3件</td><td>3件</td></tr><tr><td>褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去</td><td>3件</td><td>—</td><td>—</td><td>10件</td></tr><tr><td>創傷に対する降圧閉鎖療法</td><td>3件</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>創部ドレーンの抜去</td><td>2件</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血</td><td>1件</td><td>—</td><td>37件</td><td>66件</td></tr><tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td><td>—</td><td>4件</td><td>2件</td><td>—</td></tr><tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td><td>129件</td><td>85件</td><td>136件</td><td>172件</td></tr><tr><td>気管チューブの位置調整</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>7件</td></tr><tr><td>合計</td><td>454件</td><td>228件</td><td>315件</td><td>422件</td></tr></table> ※令和3年度から算出開始	特定行為	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	侵襲的胸腔換気の設定の変更	182件	123件	110件	116件	人工呼吸器からの離脱	82件	6件	—	—	気管カニューレの交換	3件	—	—	6件	胃ろうカテーテル若しくは経ろうカテーテル又は胃ろうポタンの交換	42件	7件	24件	40件	経経ろうカテーテルの交換	7件	—	3件	1件	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	—	1件	—	—	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	—	2件	—	—	持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整	—	—	—	1件	インスリン投与量の調整	—	—	3件	3件	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3件	—	—	10件	創傷に対する降圧閉鎖療法	3件	—	—	—	創部ドレーンの抜去	2件	—	—	—	直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	1件	—	37件	66件	脱水症状に対する輸液による補正	—	4件	2件	—	脱水症状に対する輸液による補正	129件	85件	136件	172件	気管チューブの位置調整	—	—	—	7件	合計	454件	228件	315件	422件				
特定行為	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																												
侵襲的胸腔換気の設定の変更	182件	123件	110件	116件																																																																																												
人工呼吸器からの離脱	82件	6件	—	—																																																																																												
気管カニューレの交換	3件	—	—	6件																																																																																												
胃ろうカテーテル若しくは経ろうカテーテル又は胃ろうポタンの交換	42件	7件	24件	40件																																																																																												
経経ろうカテーテルの交換	7件	—	3件	1件																																																																																												
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	—	1件	—	—																																																																																												
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	—	2件	—	—																																																																																												
持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整	—	—	—	1件																																																																																												
インスリン投与量の調整	—	—	3件	3件																																																																																												
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3件	—	—	10件																																																																																												
創傷に対する降圧閉鎖療法	3件	—	—	—																																																																																												
創部ドレーンの抜去	2件	—	—	—																																																																																												
直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	1件	—	37件	66件																																																																																												
脱水症状に対する輸液による補正	—	4件	2件	—																																																																																												
脱水症状に対する輸液による補正	129件	85件	136件	172件																																																																																												
気管チューブの位置調整	—	—	—	7件																																																																																												
合計	454件	228件	315件	422件																																																																																												
③ 初期臨床研修医及び専攻医（専門分野の研修医）を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>初期臨床研修医マッチング</td><td>毎年度フルマッチ</td></tr></table> (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100％であることをいう。	目標とする指標	目標値	初期臨床研修医マッチング	毎年度フルマッチ	③ 初期臨床研修医及び専攻医（専門分野の研修医）を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>初期臨床研修医マッチング</td><td>フルマッチ</td></tr></table> (注)フルマッチとは、募集定員に対する充足率が100％であることをいう。	目標とする指標	目標値	初期臨床研修医マッチング	フルマッチ	・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科（内科、外科、産婦人科、麻酔科）及び連携施設（内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科）として、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。 【実績】マッチング状況 <table><tr><th>区分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>定員</td><td>13名</td><td>13名</td><td>13名</td><td>13名</td></tr><tr><td>充足率</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr></table> 【実績】臨床研修医及び専攻医（レジデント）受入れ人数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>68名</td><td>67名</td><td>73名</td><td>74名</td></tr></table> ・目標である初期臨床研修医マッチングについて、目標値を達成することができた。 【実績】初期臨床研修医マッチング（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>フルマッチ</td><td>フルマッチ</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	定員	13名	13名	13名	13名	充足率	100%	100%	100%	100%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	68名	67名	73名	74名	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	フルマッチ	フルマッチ	○																																																							
目標とする指標	目標値																																																																																															
初期臨床研修医マッチング	毎年度フルマッチ																																																																																															
目標とする指標	目標値																																																																																															
初期臨床研修医マッチング	フルマッチ																																																																																															
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																												
定員	13名	13名	13名	13名																																																																																												
充足率	100%	100%	100%	100%																																																																																												
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																													
68名	67名	73名	74名																																																																																													
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																												
フルマッチ	フルマッチ	○																																																																																														
④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手医師のスキルアップを図るため、指導医の確保等に努める。	④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実等に努め、各職種の専門性の向上を図る。また、若手医師のスキルアップを図るため、指導医の確保等に努める。	・教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研修のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師派遣による役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修をした。また、若手の医師臨床研修にかかる指導医講習会の受講者は5名、プログラム責任者養成講習会は1名が受講し修了した。																																																																																														

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																							
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																								
⑤ 看護師や助産師の確保・育成のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑤ 看護師や助産師の確保・育成のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	・看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行った。さらに、薬剤師の確保を目的として、薬剤師就学資金貸与制度を構築した。 【実績】看護師等修学資金の貸与 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td rowspan="2">貸 与</td><td>貸与者</td><td>15名</td><td>14名</td><td>14名</td><td>12名</td></tr><tr><td>うち新規貸与決定者</td><td>5名</td><td>4名</td><td>4名</td><td>5名</td></tr><tr><td rowspan="3">終 了</td><td>貸与終了者(A)</td><td>4名</td><td>5名</td><td>4名</td><td>5名</td></tr><tr><td>うち法人就職者(B)</td><td>2名</td><td>4名</td><td>3名</td><td>5名</td></tr><tr><td>入職率(B/A)</td><td>50%</td><td>80%</td><td>75%</td><td>100%</td></tr></table>	区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	貸 与	貸与者	15名	14名	14名	12名	うち新規貸与決定者	5名	4名	4名	5名	終 了	貸与終了者(A)	4名	5名	4名	5名	うち法人就職者(B)	2名	4名	3名	5名	入職率(B/A)	50%	80%	75%	100%	A																										
区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																									
貸 与	貸与者	15名	14名	14名	12名																																																									
	うち新規貸与決定者	5名	4名	4名	5名																																																									
終 了	貸与終了者(A)	4名	5名	4名	5名																																																									
	うち法人就職者(B)	2名	4名	3名	5名																																																									
	入職率(B/A)	50%	80%	75%	100%																																																									
⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看護師資格の新規取得のほか、看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。	⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師資格及び認定看護師資格の新規取得及び看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。 【目標】法人全体 <table><tr><th>目 標 と す る 指 標</th><th>目 標 値</th></tr><tr><td>特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数</td><td>期間中5名以上</td></tr><tr><td>特定行為研修修了者</td><td>期間中4名以上</td></tr></table>	目 標 と す る 指 標	目 標 値	特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上	特定行為研修修了者	期間中4名以上	・看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為看護師研修者を育成した。 【実績】認定看護師等研修派遣 <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>認定看護師</td><td>2名</td><td>2名</td><td>0名</td><td>1名</td></tr><tr><td>専門看護師</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr><tr><td>特定行為研修</td><td>2名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr></table> ・目標とする各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数の目標値については、上回ることができた。 【実績】法人全体 <table><tr><th>区 分</th><th>目標値</th><th colspan="2">令和6年度</th><th colspan="2">令和7年度</th><th colspan="2">令和8年度</th><th colspan="2">令和9年度</th></tr><tr><td>各種看護師資格の新規取得者数</td><td>中期計画期間中5名以上</td><td>3名</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>特定行為研修修了者数</td><td>中期計画期間中4名以上</td><td>2名</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※年度目安・各種看護師資格新規取得者数1～2名以上、特定行為研修修了者数1名以上	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	認定看護師	2名	2名	0名	1名	専門看護師	1名	1名	1名	0名	特定行為研修	2名	3名	2名	2名	区 分	目標値	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		各種看護師資格の新規取得者数	中期計画期間中5名以上	3名	○							特定行為研修修了者数	中期計画期間中4名以上	2名	○										
目 標 と す る 指 標	目 標 値																																																													
特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上																																																													
特定行為研修修了者	期間中4名以上																																																													
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																										
認定看護師	2名	2名	0名	1名																																																										
専門看護師	1名	1名	1名	0名																																																										
特定行為研修	2名	3名	2名	2名																																																										
区 分	目標値	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度																																																						
各種看護師資格の新規取得者数	中期計画期間中5名以上	3名	○																																																											
特定行為研修修了者数	中期計画期間中4名以上	2名	○																																																											
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																														
事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。 事務局体制強化のため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。	・新規採用職員の研修を通して基礎的知識の修得に努めたほか、今年度新たに事務部門内でモーニングセミナーを6回開催し、病院組織・医事・契約事務等の専門性向上に努めた。 ・事務職員の専門性向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、令和6年度は診療情報管理士に1名合格し、新たに通信教育(診療情報管理士)の受講を3名が開始した。 ・医師事務作業補助者のキャリアパスプランを策定し、必要なスキルや目標を明確にするとともに個人のスキルに応じた教育・支援体制を構築した。	A			B	B																																																							

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人における自己評価																																																																											
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																												
ウ 職員の勤務環境の改善																																																																																		
① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標</td></tr><tr><td>医師の時間外労働規制</td><td>毎年度A水準</td></tr></table>	目標とする指標	目標	医師の時間外労働規制	毎年度A水準	① 医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、タスクシフト・タスクシェアの推進、柔軟な勤務形態の導入・活用等を図る。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標</td></tr><tr><td>医師の時間外労働規制</td><td>A水準</td></tr></table>	目標とする指標	目標	医師の時間外労働規制	A水準	・医師の働き方改革を踏まえた適切な労務管理の推進、麻酔アシスタント・特定行為研修修了者等の積極的な活用の推進によるタスクシフト・タスクシェアを図り、全医師がA水準を達成した。また、時差出勤等の活用を推進し、柔軟な勤務形態の環境整備に努めた。 ・目標とする医師の時間外労働規制について、達成することができた。 【実績】医師の時間外労働規制(日本海総合病院) <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>A水準</td><td>A水準</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table> ・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。ストレスチェックに加え、長時間労働者については産業医面談を実施し職員の健康維持に努めた。 ・ハラスメント研修として「カスタマーハラスメント」についてを実施し、50名の参加、Web受講509名とハラスメント対策の充実を図った。 【実績】ストレスチェックの受診状況(日本海総合病院) <table><tr><td>区分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>実施率</td><td>91.10%</td><td>89.50%</td><td>79.00%</td><td>79.40%</td></tr></table> ・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。 【実績】医師短時間職員制度等利用状況 <table><tr><td>区分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>医師短時間</td><td>3名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>3名</td></tr><tr><td>育児部分休業</td><td>0名</td><td>1名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr><tr><td>育児短時間勤務</td><td>1名</td><td>1名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr><tr><td>育児時間</td><td>31名</td><td>40名</td><td>52名</td><td>71名</td></tr><tr><td>ベビーシッター等助成金</td><td>0名</td><td>0名</td><td>0名</td><td>1名</td></tr><tr><td>ハウスクリーニング等助成金</td><td>3名</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr><tr><td>屋外清掃作業助成金</td><td>1名</td><td>0名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr></table> ・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を下記のとおり配置し、医師をはじめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。 【実績】医師事務作業補助者配置数 <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>70名</td><td>76名</td><td>79名</td><td>79名</td></tr></table>	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	A水準	A水準	○			区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	実施率	91.10%	89.50%	79.00%	79.40%	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	医師短時間	3名	3名	2名	3名	育児部分休業	0名	1名	2名	4名	育児短時間勤務	1名	1名	1名	0名	育児時間	31名	40名	52名	71名	ベビーシッター等助成金	0名	0名	0名	1名	ハウスクリーニング等助成金	3名	2名	2名	2名	屋外清掃作業助成金	1名	0名	1名	1名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	70名	76名	79名	79名	A		A	A
目標とする指標	目標																																																																																	
医師の時間外労働規制	毎年度A水準																																																																																	
目標とする指標	目標																																																																																	
医師の時間外労働規制	A水準																																																																																	
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																														
A水準	A水準	○																																																																																
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																														
実施率	91.10%	89.50%	79.00%	79.40%																																																																														
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																														
医師短時間	3名	3名	2名	3名																																																																														
育児部分休業	0名	1名	2名	4名																																																																														
育児短時間勤務	1名	1名	1名	0名																																																																														
育児時間	31名	40名	52名	71名																																																																														
ベビーシッター等助成金	0名	0名	0名	1名																																																																														
ハウスクリーニング等助成金	3名	2名	2名	2名																																																																														
屋外清掃作業助成金	1名	0名	1名	1名																																																																														
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																															
70名	76名	79名	79名																																																																															
② 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。	② 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。																																																																																	
③ 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。	③ 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。																																																																																	
④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。	④ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。																																																																																	

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																				
(3)医療サービスの効果的な提供																										
ア 地域連携の推進																										
① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。 さらに、医師派遣、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラの推進、参加法人間の人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護・福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。	・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。	S			S	S																			
	② 医師派遣、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。	・庄内南部の医療機関へ医師を派遣し、庄内地域の医療連携の推進に努めた。 ・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。全国的な取り組みである全国ID-LinkEHRに参加し、参加している国内の医療機関と連携できる基盤を構築した。 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>41件</td><td>48件</td><td>55件</td><td>88件</td></tr></table> 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数（主要コンテンツ別） <table><tr><th>コンテンツ</th><th>令和3～6年度 合計</th></tr><tr><td>処方（指示）</td><td>11件</td></tr><tr><td>注射（指示）</td><td>4件</td></tr><tr><td>検査</td><td>14件</td></tr><tr><td>画像（指示）</td><td>51件</td></tr><tr><td>レポート</td><td>11件</td></tr><tr><td>画像一覧（画像の参照）</td><td>118件</td></tr><tr><td>ノート（記録）</td><td>23件</td></tr></table>						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	41件	48件	55件	88件	コンテンツ	令和3～6年度 合計	処方（指示）	11件	注射（指示）	4件	検査	14件	画像（指示）	51件	レポート
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																							
41件	48件	55件	88件																							
コンテンツ	令和3～6年度 合計																									
処方（指示）	11件																									
注射（指示）	4件																									
検査	14件																									
画像（指示）	51件																									
レポート	11件																									
画像一覧（画像の参照）	118件																									
ノート（記録）	23件																									
② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用等により、かかりつけ医への紹介等連携を図る。 																										

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																			
イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用																																									
① 地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	・地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が6,003名増加した。 【実績】登録患者数等 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>登録患者数</td><td>55,131名</td><td>60,650名</td><td>66,457名</td><td>72,460名</td></tr><tr><td>開示施設数</td><td>8施設</td><td>8施設</td><td>8施設</td><td>6施設</td></tr><tr><td>閲覧施設数</td><td>237施設</td><td>249施設</td><td>264施設</td><td>268施設</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	登録患者数	55,131名	60,650名	66,457名	72,460名	開示施設数	8施設	8施設	8施設	6施設	閲覧施設数	237施設	249施設	264施設	268施設	A		A	A															
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																					
登録患者数	55,131名	60,650名	66,457名	72,460名																																					
開示施設数	8施設	8施設	8施設	6施設																																					
閲覧施設数	237施設	249施設	264施設	268施設																																					
② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。 ・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護福祉機関と連携し支援を行った。 【実績】地域連携クリティカルパス適用件数（日本海総合病院） <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>24件</td><td>11件</td><td>1件</td><td>16件</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>7件</td><td>8件</td><td>9件</td><td>1件</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>15件</td><td>9件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>大腿骨近位部骨折</td><td>102件</td><td>88件</td><td>99件</td><td>100件</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>183件</td><td>165件</td><td>172件</td><td>168件</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>5件</td><td>0件</td><td>2件</td><td>0件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	大腸がん	24件	11件	1件	16件	乳がん	7件	8件	9件	1件	胃がん	15件	9件	0件	0件	大腿骨近位部骨折	102件	88件	99件	100件	脳卒中	183件	165件	172件	168件	前立腺がん	5件	0件	2件	0件				
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																					
大腸がん	24件	11件	1件	16件																																					
乳がん	7件	8件	9件	1件																																					
胃がん	15件	9件	0件	0件																																					
大腿骨近位部骨折	102件	88件	99件	100件																																					
脳卒中	183件	165件	172件	168件																																					
前立腺がん	5件	0件	2件	0件																																					
ウ 医療DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進																																									
マイナンバーカードの健康保険証、電子処方箋及び医療MaaSをはじめとする遠隔診療等の利活用を促進するとともに、医療DXの推進により医療の質の向上、患者の利便性向上、働き方改革の推進等の取組を行っていく。 また、ICTを活用した医療・介護・福祉連携の推進を図る。	① マイナンバーカードの活用を通じて、健康保険証及び電子処方箋等の医療DXを促進することで患者の利便性向上や医療安全の向上を図りつつ、これらの取り組みを普及拡大し、医療データの利活用を推進する。	・マイナ保険証の利用促進のため、再来受付機のうち3台を顔認証付きカードリーダーと連携し、マイナ受付と同時に再来受付が行えるように改修した。 ・医療費助成のオンライン資格確認及び救急時医療情報閲覧機能を導入し、医療データの利活用を推進した。 ・医師のHPKカード取得の推進を図り、電子処方箋の利用を促進することで地域の医療安全向上に努めた。 【実績】マイナ保険証利用件数等 <table><tr><td>区 分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>マイナ保険証利用件数</td><td>6,227件</td><td>92,262件</td></tr><tr><td>電子処方箋発行枚数</td><td>48,858件</td><td>69,656件</td></tr></table>	区 分	令和5年度	令和6年度	マイナ保険証利用件数	6,227件	92,262件	電子処方箋発行枚数	48,858件	69,656件	A																													
区 分	令和5年度	令和6年度																																							
マイナ保険証利用件数	6,227件	92,262件																																							
電子処方箋発行枚数	48,858件	69,656件																																							
	② 医療・介護・福祉連携の推進を図るため、酒田市と協働し、ICTを利用した地域包括ケアシステムの構築を進める。	・医療・介護・福祉連携の推進を図るため、酒田市と協働して、医療・介護情報共有サービス「Team」を導入し、酒田市の医療機関・介護施設など147施設が参加した。 【実績】「Team」参加施設数 <table><tr><td>診療所</td><td>22施設</td><td>訪問介護（ヘルパー）</td><td>7施設</td><td>グループホーム</td><td>10施設</td></tr><tr><td>病院</td><td>6施設</td><td>訪問リハビリ</td><td>2施設</td><td>特別養護老人ホーム</td><td>9施設</td></tr><tr><td>居宅介護支援</td><td>24施設</td><td>デイサービス・デイケア</td><td>18施設</td><td>介護老人保健施設</td><td>5施設</td></tr><tr><td>地域包括支援センター</td><td>10施設</td><td>ショートステイ</td><td>6施設</td><td>その他</td><td>14施設</td></tr><tr><td>訪問看護</td><td>8施設</td><td>小規模多機能型居宅介護</td><td>6施設</td><td>計</td><td>147施設</td></tr></table>	診療所	22施設	訪問介護（ヘルパー）	7施設	グループホーム	10施設	病院	6施設	訪問リハビリ	2施設	特別養護老人ホーム	9施設	居宅介護支援	24施設	デイサービス・デイケア	18施設	介護老人保健施設	5施設	地域包括支援センター	10施設	ショートステイ	6施設	その他	14施設	訪問看護	8施設	小規模多機能型居宅介護	6施設	計	147施設									
診療所	22施設	訪問介護（ヘルパー）	7施設	グループホーム	10施設																																				
病院	6施設	訪問リハビリ	2施設	特別養護老人ホーム	9施設																																				
居宅介護支援	24施設	デイサービス・デイケア	18施設	介護老人保健施設	5施設																																				
地域包括支援センター	10施設	ショートステイ	6施設	その他	14施設																																				
訪問看護	8施設	小規模多機能型居宅介護	6施設	計	147施設																																				

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定	
(4)教育研修事業の充実							
ア 庄内地域における医療水準の向上							
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続 き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立 酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、 質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の 技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	① 庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き 続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市 立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するな ど、質の高い医療従事者の育成に努める。 						

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																											
イ 住民意識の啓発活動																																	
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や、ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等の活用により、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。	① 住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し、啓発活動や地域住民を対象としたセミナーの実施に努める。	・住民の健康意識の向上のため、住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」が主催した健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。 【実績】健康講座（開催場所：酒田市総合文化センター） <table><tr><th>開催日</th><th>内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年6月5日</td><td>『熱中症について』 救命救急センター長 陳 正浩</td><td>16名</td></tr><tr><td>令和6年7月3日</td><td>『当院での心臓血管外科診療』 診療部長（兼）心臓血管外科部長 金 哲樹</td><td>18名</td></tr><tr><td>令和6年7月31日</td><td>『感染症の予防』 検査部技師長 齋藤 裕紀</td><td>12名</td></tr></table> ・地域住民を対象に市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。 【実績】がん診療連携拠点病院公開講座（開催場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田） <table><tr><th>開催日</th><th>内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年8月25日</td><td>がんは薬で治る時代へ 科学的がん免疫療法 昭和大学医学部 角田 卓也 氏</td><td>128名</td></tr></table>	開催日	内容等	参加人数	令和6年6月5日	『熱中症について』 救命救急センター長 陳 正浩	16名	令和6年7月3日	『当院での心臓血管外科診療』 診療部長（兼）心臓血管外科部長 金 哲樹	18名	令和6年7月31日	『感染症の予防』 検査部技師長 齋藤 裕紀	12名	開催日	内容等	参加人数	令和6年8月25日	がんは薬で治る時代へ 科学的がん免疫療法 昭和大学医学部 角田 卓也 氏	128名	B												
開催日	内容等	参加人数																															
令和6年6月5日	『熱中症について』 救命救急センター長 陳 正浩	16名																															
令和6年7月3日	『当院での心臓血管外科診療』 診療部長（兼）心臓血管外科部長 金 哲樹	18名																															
令和6年7月31日	『感染症の予防』 検査部技師長 齋藤 裕紀	12名																															
開催日	内容等	参加人数																															
令和6年8月25日	がんは薬で治る時代へ 科学的がん免疫療法 昭和大学医学部 角田 卓也 氏	128名																															
【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>病院広報誌発行回数</td><td>毎年度4回</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	毎年度4回	② ウェブサイト及び広報誌「あきほ」等を活用し、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報や医療等に関する情報を分かりやすく提供する。 【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>病院広報誌発行回数</td><td>4回以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	4回以上	・それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。 【実績】病院広報誌発行回数 <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td><td>4回</td></tr></table> ・目標とする病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。 【実績】病院広報誌発行回数 <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>4回以上</td><td>4回</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	4回	4回	4回	4回	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	4回以上	4回	○							
目標とする指標	目標値																																
病院広報誌発行回数	毎年度4回																																
目標とする指標	目標値																																
病院広報誌発行回数	4回以上																																
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																														
4回	4回	4回	4回																														
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																													
4回以上	4回	○																															

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																											
3 患者・住民の満足度の向上																																	
患者満足度調査等を実施し、院内環境等の快適性の向上、患者サービス向上に向けた取組を行う。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>毎年度96%以上</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>毎年度96%以上</td></tr></table> (注)入院患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(入院))×100 (注)外来患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(外来))×100	目標とする指標	目標値	入院患者満足度	毎年度96%以上	外来患者満足度	毎年度96%以上	患者満足度調査等を実施し、院内環境等の快適性の向上、患者サービス向上に向けた取組を行う。 【目標】日本海総合病院 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>96%以上</td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>96%以上</td></tr></table> (注)入院患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した入院患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(入院))×100 (注)外来患者満足度=(満足のいく治療を受けたと回答した外来患者数(満足＋ほぼ満足)／患者満足度の有効回答数(外来))×100	目標とする指標	目標値	入院患者満足度	96%以上	外来患者満足度	96%以上	・患者サービス向上に向け、患者アンケート調査を実施し患者の声を適切に把握するとともに、患者サービス向上の一助とするため、職員満足度調査を実施した。そのほかにも、外来待ち時間調査の実施や、「医療接遇マナーの心得」の周知を行った。 ・院内のWi-Fiを整備し、院内環境の快適性の向上に努めた。 ・目標とする患者満足度については、入院患者満足度のみ目標値を超えることができた。 【実績】患者満足度（日本海総合病院） <table><tr><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>入院患者満足度</td><td>98.9%</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>外来患者満足度</td><td>95.7%</td><td>×</td><td></td><td></td></tr></table>	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	入院患者満足度	98.9%	○			外来患者満足度	95.7%	×			B			
目標とする指標	目標値																																
入院患者満足度	毎年度96%以上																																
外来患者満足度	毎年度96%以上																																
目標とする指標	目標値																																
入院患者満足度	96%以上																																
外来患者満足度	96%以上																																
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																													
入院患者満足度	98.9%	○																															
外来患者満足度	95.7%	×																															
4 法令等の遵守と情報公開の推進																																	
① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。 ② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。 ② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、また文書管理については、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。 ・医療情報の開示については、インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び法人規程に基づき、県の機関に準じて適切に行った。 【実績】診療情報提供申出件数（日本海総合病院） <table><tr><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>59件</td><td>43件</td><td>57件</td><td>77件</td></tr></table> ・文書管理についても、山形県公文書等の管理に関する条例に基づき、保存・廃棄等適切に対応した。	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	59件	43件	57件	77件	B			B	B																		
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																														
59件	43件	57件	77件																														

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																				
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類似項目の評価																																																																					
5 医療安全対策の充実・強化																																																																											
(1)医療事故等の防止																																																																											
住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策に関する研修を2回行った。診療報酬改定にあわせた研修や医療安全の更なる推進を目的とした研修会を行い、病院全体の医療安全の強化を図った。 ・開催方法については、開催当日の集合研修のほかに、未受講者に対してe－ラーニングによる動画配信を行った。未受講者に対しては、定期的に受講の呼びかけを行い、多くの職員が受講できるよう取り組んだ。 【実績】医療安全研修会（日本海総合病院） <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年11月20日</td><td>第1回 身体拘束最小化チーム医療安全全体研修会 『当院の身体拘束の実施状況、身体拘束最小化のための指針、身体拘束の運用』 看護部 医療安全管理者 富澤晴美 看護部 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉山貴子 看護部 老年看護専門看護師 五十嵐千里 『死亡診断書お渡しまでの留意事項について』 医事課 診療支援係 主任 佐藤悦子</td><td>1,163名</td></tr><tr><td>令和6年12月19日</td><td>第2回 クリニカルパス・医療安全全体研修会 『レジリエンス向上を目指したクリニカルパスの運用 ～医療安全と質保証に生かすために～』 山梨大学大学院 総合研究部医学科 臨床医学系 特任教授 小林 美重 氏</td><td>1,155名</td></tr></table> ・医療安全対策に関する他医療機関との相互評価について、医療機関間で意見を交わし、互いの医療機関での医療安全の更なる向上に繋がられた。 【実績】医療安全地域連携対策加算に伴う他医療機関との相互評価 <table><tr><th>開催日</th><th>評価対象病院</th><th>評価実施病院</th></tr><tr><td>令和6年10月17日</td><td>鶴岡市立荘内病院</td><td>日本海総合病院</td></tr><tr><td>令和6年11月21日</td><td>日本海総合病院</td><td>鶴岡市立荘内病院</td></tr><tr><td>令和7年3月4日</td><td>日本海酒田リハビリテーション病院</td><td>日本海総合病院</td></tr><tr><td>令和7年3月4日</td><td>順仁堂遊佐病院</td><td>日本海総合病院</td></tr></table> 【実績】院内感染対策研修会（日本海総合病院） <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年8月19日</td><td>第1回院内感染対策研修会 「感染対策の概論・総論、当院の抗菌薬使用状況」 対面・動画配信</td><td>1,159名</td></tr><tr><td>令和6年11月18日</td><td>第2回院内感染対策研修会 「感染対策と感染症治療の心構え」 対面・動画配信</td><td>1,168名</td></tr></table> 【実績】医療安全研修会（日本海酒田リハビリテーション病院） <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和7年3月11日</td><td>第1回 医療安全研修会 転倒予防のために 「動きやすい介助方法の検討と実践」</td><td>104名</td></tr><tr><td>令和7年3月18日</td><td>第2回 医療安全研修会・動画配信 医薬品関連医療安全情報の振り返り</td><td>98名</td></tr></table> 【実績】院内感染対策研修会（日本海酒田リハビリテーション病院） <table><tr><th>開催日</th><th>研修内容等</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>令和6年7月3日 令和6年7月11日 令和6年7月23日</td><td>第1回 院内感染対策研修会・動画配信 予防の基本（手指衛生、標準、経路別予防策）</td><td>104名</td></tr><tr><td>令和6年11月18日 令和6年11月22日 令和6年11月26日</td><td>第2回 院内感染対策研修会・動画配信 病棟における感染症患者発生時の対応</td><td>129名</td></tr></table> ・目標とする医療安全対策に係る研修については、目標値どおり実施することができた。 【実績】医療安全対策に係る研修 <table><tr><th>目標値</th><th>区分</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td rowspan="2">2回以上</td><td>日本海総合病院</td><td>2回</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>酒田リハビリテーション病院</td><td>2回</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	開催日	研修内容等	参加人数	令和6年11月20日	第1回 身体拘束最小化チーム医療安全全体研修会 『当院の身体拘束の実施状況、身体拘束最小化のための指針、身体拘束の運用』 看護部 医療安全管理者 富澤晴美 看護部 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉山貴子 看護部 老年看護専門看護師 五十嵐千里 『死亡診断書お渡しまでの留意事項について』 医事課 診療支援係 主任 佐藤悦子	1,163名	令和6年12月19日	第2回 クリニカルパス・医療安全全体研修会 『レジリエンス向上を目指したクリニカルパスの運用 ～医療安全と質保証に生かすために～』 山梨大学大学院 総合研究部医学科 臨床医学系 特任教授 小林 美重 氏	1,155名	開催日	評価対象病院	評価実施病院	令和6年10月17日	鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院	令和6年11月21日	日本海総合病院	鶴岡市立荘内病院	令和7年3月4日	日本海酒田リハビリテーション病院	日本海総合病院	令和7年3月4日	順仁堂遊佐病院	日本海総合病院	開催日	研修内容等	参加人数	令和6年8月19日	第1回院内感染対策研修会 「感染対策の概論・総論、当院の抗菌薬使用状況」 対面・動画配信	1,159名	令和6年11月18日	第2回院内感染対策研修会 「感染対策と感染症治療の心構え」 対面・動画配信	1,168名	開催日	研修内容等	参加人数	令和7年3月11日	第1回 医療安全研修会 転倒予防のために 「動きやすい介助方法の検討と実践」	104名	令和7年3月18日	第2回 医療安全研修会・動画配信 医薬品関連医療安全情報の振り返り	98名	開催日	研修内容等	参加人数	令和6年7月3日 令和6年7月11日 令和6年7月23日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 予防の基本（手指衛生、標準、経路別予防策）	104名	令和6年11月18日 令和6年11月22日 令和6年11月26日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 病棟における感染症患者発生時の対応	129名	目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	2回以上	日本海総合病院	2回	○			酒田リハビリテーション病院	2回	○				B		B	B
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和6年11月20日	第1回 身体拘束最小化チーム医療安全全体研修会 『当院の身体拘束の実施状況、身体拘束最小化のための指針、身体拘束の運用』 看護部 医療安全管理者 富澤晴美 看護部 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 杉山貴子 看護部 老年看護専門看護師 五十嵐千里 『死亡診断書お渡しまでの留意事項について』 医事課 診療支援係 主任 佐藤悦子	1,163名																																																																									
令和6年12月19日	第2回 クリニカルパス・医療安全全体研修会 『レジリエンス向上を目指したクリニカルパスの運用 ～医療安全と質保証に生かすために～』 山梨大学大学院 総合研究部医学科 臨床医学系 特任教授 小林 美重 氏	1,155名																																																																									
開催日	評価対象病院	評価実施病院																																																																									
令和6年10月17日	鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院																																																																									
令和6年11月21日	日本海総合病院	鶴岡市立荘内病院																																																																									
令和7年3月4日	日本海酒田リハビリテーション病院	日本海総合病院																																																																									
令和7年3月4日	順仁堂遊佐病院	日本海総合病院																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和6年8月19日	第1回院内感染対策研修会 「感染対策の概論・総論、当院の抗菌薬使用状況」 対面・動画配信	1,159名																																																																									
令和6年11月18日	第2回院内感染対策研修会 「感染対策と感染症治療の心構え」 対面・動画配信	1,168名																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和7年3月11日	第1回 医療安全研修会 転倒予防のために 「動きやすい介助方法の検討と実践」	104名																																																																									
令和7年3月18日	第2回 医療安全研修会・動画配信 医薬品関連医療安全情報の振り返り	98名																																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																																									
令和6年7月3日 令和6年7月11日 令和6年7月23日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 予防の基本（手指衛生、標準、経路別予防策）	104名																																																																									
令和6年11月18日 令和6年11月22日 令和6年11月26日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 病棟における感染症患者発生時の対応	129名																																																																									
目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																						
2回以上	日本海総合病院	2回	○																																																																								
	酒田リハビリテーション病院	2回	○																																																																								
【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 目標とする指標 医療安全対策に係る研修 毎年度2回以上	【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 目標とする指標 医療安全対策に係る研修 2回以上																																																																										

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																	
(2)情報セキュリティ対策の強化																							
厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、職員教育等による適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化に努める。	厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、職員教育等による適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化に努める。	・厚生労働省が定める医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等を踏まえ、適切な情報管理やランサムウェア対策等、情報セキュリティの強化を図るため、全職員に向けたe-ラーニング研修を実施し、地域医療情報ネットワーク「ちょうかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対して、対面でのセキュリティ研修会を実施した。	B																				
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																						
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																							
① 運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>内部監査</td><td>毎年度2項目以上</td></tr></table>	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	① 運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。 【目標】法人全体 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>内部監査</td><td>2項目以上</td></tr></table> 【実績】内部監査 <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>2項目以上</td><td>2項目</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	目標とする指標	目標値	内部監査	2項目以上	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	2項目以上	2項目	○			A		A	A
目標とする指標	目標値																						
内部監査	毎年度2項目以上																						
目標とする指標	目標値																						
内部監査	2項目以上																						
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																			
2項目以上	2項目	○																					
② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(事業継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。																					
	③ サイバー攻撃を想定したBCPを策定し、万が一、セキュリティインシデントが発生しても速やかに回復できるようマネジメント体制を整備、訓練・演習を実施し、業務の継続性を確保する。	・サイバー攻撃を想定した情報システムBCPを策定し、マネジメント体制を整備した。 ・サイバーインシデント対応についてBCPに沿った机上訓練を実施し、課題が見つかった箇所についてBCPの改訂を行い、業務の継続性の確保に努めた。																					
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																							
地域の医療ニーズ等に迅速かつ的確に対応するため、診療体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者の配置により、効率的な業務運営に努める。	地域の医療ニーズ等に迅速かつ的確に対応するため、診療体制の適正化を図るとともに、適切かつ弾力的な医療従事者の配置により、効率的な業務運営に努める。	・地域の医療ニーズ等の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、時差出勤制度を導入し多様な勤務形態を活用することで、診療体制の適正化を図った。	B			B	B																
3 業務の効率化、職員の意欲向上																							
① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスクシェアを推進する。	① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努める。また、各業務においては、業務負担軽減に繋がるようタスクシフト・タスクシェアを推進する。	・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。 ・各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等に努めた。 【実績】業務改善委員会(日本海総合病院) <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>新規提案</td><td>33件</td><td>15件</td><td>21件</td><td>34件</td></tr><tr><td>終了</td><td>27件</td><td>19件</td><td>18件</td><td>20件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	新規提案	33件	15件	21件	34件	終了	27件	19件	18件	20件	A			A	A	
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																			
新規提案	33件	15件	21件	34件																			
終了	27件	19件	18件	20件																			
② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来の病院経営を担う人材を育成するため、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。																					

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定				前年度計画 法人にお ける自己 評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																					
4 経営基盤の安定化																																											
(1)収入の確保																																											
① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。	① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。	・診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、新たな施設基準の取得や見直しを行い、増収を図った。 【実績】令和6年6月～令和7年3月 <table><tr><td>区 分</td><td>金 額</td></tr><tr><td>新規施設基準取得による増収額</td><td>113,042,140円</td></tr></table> ※ベア評価料を含む新規で届出したもの ※新規であっても、急性期充実体制加算1等のように再編されたもの、特定集中6・ハイケア1のように別の特定入院料に変更したものは除く。 ・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和6年度のDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。 ・目標とするDPC特定病院群適用については、目標値どおり継続となった。 【実績】DPC特定病院群適用（法人全体） <table><tr><td>目標値</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>中期計画期間中継続</td><td>継続</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	区 分	金 額	新規施設基準取得による増収額	113,042,140円	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	中期計画期間中継続	継続	○			A			A	A																						
区 分	金 額																																										
新規施設基準取得による増収額	113,042,140円																																										
目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																							
中期計画期間中継続	継続	○																																									
② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。	② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。	・退院時会計の推進等により、現金支払い・クレジットカード支払いに加え、後払いサービスを導入し、支払い方法を増やすことで患者の利便性を向上させ未収金の発生防止に努めた。 ・未収金回収業務においては、定期的な電話連絡や集金業務に加え、委託業者とも連携し早期回収に努めた。																																									
(2)費用の抑制																																											
医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。 また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品及びバイオシミラーの使用促進に努める。	① 医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努める。 【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 <table><tr><td>目標とする指標</td><td>目標値</td></tr><tr><td>後発医薬品数量シェア率</td><td>毎年度85％以上</td></tr></table> (注)後発医薬品数量シェア率=(後発医薬品÷(後発医薬品のある先発医薬品＋後発医薬品))×100	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	毎年度85％以上	・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。 【実績】後発医薬品数量シェア率 <table><tr><td>区 分</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>日本海総合病院</td><td>90%</td><td>90%</td><td>92%</td><td>93%</td></tr><tr><td>日本海酒田リハビリテーション病院</td><td>94%</td><td>95%</td><td>95%</td><td>95%</td></tr></table> ・目標とする後発医薬品数量シェア率の目標値については、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに上回ることができた。 【実績】後発医薬品数量シェア率 <table><tr><td>目標値</td><td>区分</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td><td>令和8年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td rowspan="2">85％以上</td><td>日本海総合病院</td><td>93.0%</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>酒田リハビリテーション病院</td><td>95.0%</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	日本海総合病院	90%	90%	92%	93%	日本海酒田リハビリテーション病院	94%	95%	95%	95%	目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	85％以上	日本海総合病院	93.0%	○			酒田リハビリテーション病院	95.0%	○			A			A	A
目標とする指標	目標値																																										
後発医薬品数量シェア率	毎年度85％以上																																										
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																							
日本海総合病院	90%	90%	92%	93%																																							
日本海酒田リハビリテーション病院	94%	95%	95%	95%																																							
目標値	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																						
85％以上	日本海総合病院	93.0%	○																																								
	酒田リハビリテーション病院	95.0%	○																																								
	② バイオ医薬品については、後続品であるバイオシミラーへの切り替えを推進する。	・バイオ医薬品については、後続品であるバイオシミラーへの切り替えを実施した。 【実績】バイオシミラーへの切替（日本海総合病院） <table><tr><td>先発品</td><td>後続品</td></tr><tr><td>ヒューマログ注</td><td>インスリンリスプロBS注</td></tr><tr><td>レミケード</td><td>インブリキシマブBS</td></tr><tr><td>ヒュミラ皮下注</td><td>アダリマブBS皮下注</td></tr></table>	先発品	後続品	ヒューマログ注	インスリンリスプロBS注	レミケード	インブリキシマブBS	ヒュミラ皮下注	アダリマブBS皮下注																																	
先発品	後続品																																										
ヒューマログ注	インスリンリスプロBS注																																										
レミケード	インブリキシマブBS																																										
ヒュミラ皮下注	アダリマブBS皮下注																																										

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価				前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																																																																																							
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評 価	前年度計画の類 似項目の評価																																																																																																																																									
第4 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	第3 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。 適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。 【実績】経常収支比率、営業収支比率（法人全体） <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>104.6%</td><td>106.7%</td><td>102.4%</td><td>99.6%</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>95.5%</td><td>97.0%</td><td>97.3%</td><td>95.6%</td></tr><tr><td>純資産額（単位：百万円）</td><td>28,153</td><td>29,736</td><td>30,306</td><td>30,186</td></tr></table> ・目標である経常収支比率及び純資産額について目標値には届かなかったが、修正営業収支比率の目標値は上回ることができた。 【実績】経常収支比率、修正営業収支比率（法人全体） <table><tr><th>区 分</th><th>目標値</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100%以上</td><td>99.6%</td><td>×</td><td></td><td></td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>95%以上</td><td>95.6%</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>純資産額（単位：百万円）</td><td>前年度の額以上</td><td>△120</td><td>×</td><td></td><td></td></tr></table>		区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	経常収支比率	104.6%	106.7%	102.4%	99.6%	修正営業収支比率	95.5%	97.0%	97.3%	95.6%	純資産額（単位：百万円）	28,153	29,736	30,306	30,186	区 分	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	経常収支比率	100%以上	99.6%	×			修正営業収支比率	95%以上	95.6%	○			純資産額（単位：百万円）	前年度の額以上	△120	×			B			A	A																																																																																											
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																																																																																																																											
経常収支比率	104.6%	106.7%	102.4%	99.6%																																																																																																																																											
修正営業収支比率	95.5%	97.0%	97.3%	95.6%																																																																																																																																											
純資産額（単位：百万円）	28,153	29,736	30,306	30,186																																																																																																																																											
区 分	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																																																																																																																										
経常収支比率	100%以上	99.6%	×																																																																																																																																												
修正営業収支比率	95%以上	95.6%	○																																																																																																																																												
純資産額（単位：百万円）	前年度の額以上	△120	×																																																																																																																																												
【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>毎年度100%以上</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>毎年度95%以上</td></tr><tr><td>純資産額</td><td>毎年度前年度の額以上</td></tr></table> （注）経常収支比率＝（経常収益／経常費用）×100 （注）修正営業収支比率＝（医業収益／営業費用）×100 中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおりに見込むこととする。 また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100%以上	修正営業収支比率	毎年度95%以上	純資産額	毎年度前年度の額以上	【目標】法人全体 <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100%以上</td></tr><tr><td>修正営業収支比率</td><td>95%以上</td></tr><tr><td>純資産額</td><td>前年度の額以上</td></tr></table> （注）経常収支比率＝（経常収益／経常費用）×100 （注）修正営業収支比率＝（医業収益／営業費用）×100 予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおりに見込み、また、的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。	目標とする指標	目標値	経常収支比率	100%以上	修正営業収支比率	95%以上	純資産額	前年度の額以上	別表1 予算及び決算 <table><tr><th colspan="4">（単位：百万円）</th></tr><tr><th>区分</th><th>予算額 （当 初）</th><th>決算額</th><th>差額 （決算 - 予算）</th></tr><tr><td>収 入</td><td>26,447</td><td>26,256</td><td>△ 191</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>25,167</td><td>24,974</td><td>△ 193</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>23,735</td><td>23,481</td><td>△ 254</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>1,432</td><td>1,493</td><td>61</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>271</td><td>224</td><td>△ 47</td></tr><tr><td> 運営費負担金等</td><td>36</td><td>36</td><td>0</td></tr><tr><td> その他</td><td>235</td><td>188</td><td>△ 47</td></tr><tr><td>臨時利益</td><td>10</td><td>17</td><td>7</td></tr><tr><td>資本収入</td><td>999</td><td>1,041</td><td>42</td></tr><tr><td> 運営費負担金等</td><td>564</td><td>564</td><td>0</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>415</td><td>370</td><td>△ 45</td></tr><tr><td> その他</td><td>20</td><td>107</td><td>87</td></tr></table> <table><tr><th colspan="4">（単位：百万円）</th></tr><tr><th>区分</th><th>予算額 （当 初）</th><th>決算額</th><th>差額 （決算 - 予算）</th></tr><tr><td>支 出</td><td>27,564</td><td>26,906</td><td>△ 658</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>23,702</td><td>23,969</td><td>267</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>23,489</td><td>23,793</td><td>304</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>11,344</td><td>11,313</td><td>△ 31</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>7,659</td><td>8,400</td><td>741</td></tr><tr><td> 経費</td><td>4,344</td><td>3,993</td><td>△ 351</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>142</td><td>86</td><td>△ 56</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>213</td><td>175</td><td>△ 38</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>112</td><td>99</td><td>△ 13</td></tr><tr><td>臨時損失</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>資本支出</td><td>3,750</td><td>2,838</td><td>△ 912</td></tr><tr><td> 建設改良費</td><td>2,620</td><td>1,708</td><td>△ 912</td></tr><tr><td> 長期借入金返還金</td><td>1,122</td><td>1,122</td><td>0</td></tr><tr><td> 奨学金貸付</td><td>7</td><td>7</td><td>0</td></tr><tr><td> その他</td><td>1</td><td>0</td><td>△ 1</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。		（単位：百万円）				区分	予算額 （当 初）	決算額	差額 （決算 - 予算）	収 入	26,447	26,256	△ 191	営業収益	25,167	24,974	△ 193	医業収益	23,735	23,481	△ 254	運営費負担金	1,432	1,493	61	営業外収益	271	224	△ 47	運営費負担金等	36	36	0	その他	235	188	△ 47	臨時利益	10	17	7	資本収入	999	1,041	42	運営費負担金等	564	564	0	長期借入金	415	370	△ 45	その他	20	107	87	（単位：百万円）				区分	予算額 （当 初）	決算額	差額 （決算 - 予算）	支 出	27,564	26,906	△ 658	営業費用	23,702	23,969	267	医業費用	23,489	23,793	304	給与費	11,344	11,313	△ 31	材料費	7,659	8,400	741	経費	4,344	3,993	△ 351	研究研修費	142	86	△ 56	一般管理費	213	175	△ 38	営業外費用	112	99	△ 13	臨時損失	0	0	0	資本支出	3,750	2,838	△ 912	建設改良費	2,620	1,708	△ 912	長期借入金返還金	1,122	1,122	0	奨学金貸付	7	7	0	その他	1	0	△ 1
目標とする指標	目標値																																																																																																																																														
経常収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																														
修正営業収支比率	毎年度95%以上																																																																																																																																														
純資産額	毎年度前年度の額以上																																																																																																																																														
目標とする指標	目標値																																																																																																																																														
経常収支比率	100%以上																																																																																																																																														
修正営業収支比率	95%以上																																																																																																																																														
純資産額	前年度の額以上																																																																																																																																														
（単位：百万円）																																																																																																																																															
区分	予算額 （当 初）	決算額	差額 （決算 - 予算）																																																																																																																																												
収 入	26,447	26,256	△ 191																																																																																																																																												
営業収益	25,167	24,974	△ 193																																																																																																																																												
医業収益	23,735	23,481	△ 254																																																																																																																																												
運営費負担金	1,432	1,493	61																																																																																																																																												
営業外収益	271	224	△ 47																																																																																																																																												
運営費負担金等	36	36	0																																																																																																																																												
その他	235	188	△ 47																																																																																																																																												
臨時利益	10	17	7																																																																																																																																												
資本収入	999	1,041	42																																																																																																																																												
運営費負担金等	564	564	0																																																																																																																																												
長期借入金	415	370	△ 45																																																																																																																																												
その他	20	107	87																																																																																																																																												
（単位：百万円）																																																																																																																																															
区分	予算額 （当 初）	決算額	差額 （決算 - 予算）																																																																																																																																												
支 出	27,564	26,906	△ 658																																																																																																																																												
営業費用	23,702	23,969	267																																																																																																																																												
医業費用	23,489	23,793	304																																																																																																																																												
給与費	11,344	11,313	△ 31																																																																																																																																												
材料費	7,659	8,400	741																																																																																																																																												
経費	4,344	3,993	△ 351																																																																																																																																												
研究研修費	142	86	△ 56																																																																																																																																												
一般管理費	213	175	△ 38																																																																																																																																												
営業外費用	112	99	△ 13																																																																																																																																												
臨時損失	0	0	0																																																																																																																																												
資本支出	3,750	2,838	△ 912																																																																																																																																												
建設改良費	2,620	1,708	△ 912																																																																																																																																												
長期借入金返還金	1,122	1,122	0																																																																																																																																												
奨学金貸付	7	7	0																																																																																																																																												
その他	1	0	△ 1																																																																																																																																												

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定				前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																																																																																																																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																																																																																																																																																																																										
		別表 2 収支計画 <table><tr><th colspan="4">(単位：百万円)</th></tr><tr><th>区 分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>収 入</td><td>25,985</td><td>25,769</td><td>△ 216</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>25,759</td><td>25,523</td><td>△ 236</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>23,692</td><td>23,436</td><td>△ 256</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,432</td><td>1,493</td><td>61</td></tr><tr><td> 資産見返運営費負担金等戻入</td><td>635</td><td>594</td><td>△ 41</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>216</td><td>226</td><td>10</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>36</td><td>36</td><td>0</td></tr><tr><td> その他医業外収益</td><td>180</td><td>190</td><td>10</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>10</td><td>20</td><td>10</td></tr><tr><td>支 出</td><td>25,913</td><td>25,870</td><td>△ 43</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>24,493</td><td>24,521</td><td>28</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>24,298</td><td>24,356</td><td>58</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>195</td><td>165</td><td>△ 30</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>1,406</td><td>1,332</td><td>△ 74</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>14</td><td>18</td><td>4</td></tr><tr><td>純 利 益</td><td>72</td><td>△ 101</td><td>△ 173</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。 別表3 資金計画 <table><tr><th colspan="4">(単位：百万円)</th></tr><tr><th>区 分</th><th>予算額 (当 初)</th><th>決算額</th><th>差額 (決算 - 予算)</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>37,800</td><td>41,832</td><td>4,032</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>25,381</td><td>25,174</td><td>△ 207</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>23,735</td><td>23,434</td><td>△ 301</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,468</td><td>1,540</td><td>72</td></tr><tr><td> 補助金等収入</td><td>65</td><td>64</td><td>△ 1</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>113</td><td>136</td><td>23</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>5,066</td><td>7,073</td><td>2,007</td></tr><tr><td> 有価証券の売却による収入</td><td>0</td><td>500</td><td>500</td></tr><tr><td> 定期預金の払出による収入</td><td>4,500</td><td>6,000</td><td>1,500</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>564</td><td>564</td><td>0</td></tr><tr><td> 奨学金の返還による収入</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>1</td><td>7</td><td>6</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>415</td><td>370</td><td>△ 45</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>415</td><td>370</td><td>△ 45</td></tr><tr><td> 前年度からの繰越金</td><td>6,938</td><td>9,216</td><td>2,278</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>32,065</td><td>32,187</td><td>122</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>23,814</td><td>23,997</td><td>183</td></tr><tr><td> 人件費支出</td><td>11,344</td><td>11,283</td><td>△ 61</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>7,659</td><td>8,307</td><td>648</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>4,811</td><td>4,407</td><td>△ 404</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>7,128</td><td>7,068</td><td>△ 60</td></tr><tr><td> 有形・無形固定資産の取得による支出</td><td>2,620</td><td>1,561</td><td>△ 1,059</td></tr><tr><td> 有価証券の取得による支出</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td> 定期預金の預入による支出</td><td>4,500</td><td>5,500</td><td>1,000</td></tr><tr><td> 奨学金の貸付による支出</td><td>7</td><td>7</td><td>0</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>1</td><td>0</td><td>△ 1</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>1,123</td><td>1,122</td><td>△ 1</td></tr><tr><td> 長期借入の返済による支出</td><td>1,103</td><td>1,103</td><td>0</td></tr><tr><td> 移行前地方債償還債務等の 償還による支出</td><td>20</td><td>20</td><td>0</td></tr><tr><td>翌年度への繰越金</td><td>5,735</td><td>9,645</td><td>3,910</td></tr></table> ※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。		(単位：百万円)				区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収 入	25,985	25,769	△ 216	営業収益	25,759	25,523	△ 236	医業収益	23,692	23,436	△ 256	運営費負担金収益	1,432	1,493	61	資産見返運営費負担金等戻入	635	594	△ 41	営業外収益	216	226	10	運営費負担金収益	36	36	0	その他医業外収益	180	190	10	臨時利益	10	20	10	支 出	25,913	25,870	△ 43	営業費用	24,493	24,521	28	医業費用	24,298	24,356	58	一般管理費	195	165	△ 30	営業外費用	1,406	1,332	△ 74	臨時損失	14	18	4	純 利 益	72	△ 101	△ 173	(単位：百万円)				区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	資金収入	37,800	41,832	4,032	業務活動による収入	25,381	25,174	△ 207	診療業務による収入	23,735	23,434	△ 301	運営費負担金による収入	1,468	1,540	72	補助金等収入	65	64	△ 1	その他の業務活動による収入	113	136	23	投資活動による収入	5,066	7,073	2,007	有価証券の売却による収入	0	500	500	定期預金の払出による収入	4,500	6,000	1,500	運営費負担金による収入	564	564	0	奨学金の返還による収入	1	1	0	その他の投資活動による収入	1	7	6	財務活動による収入	415	370	△ 45	長期借入による収入	415	370	△ 45	前年度からの繰越金	6,938	9,216	2,278	資金支出	32,065	32,187	122	業務活動による支出	23,814	23,997	183	人件費支出	11,344	11,283	△ 61	材料費支出	7,659	8,307	648	その他の業務活動による支出	4,811	4,407	△ 404	投資活動による支出	7,128	7,068	△ 60	有形・無形固定資産の取得による支出	2,620	1,561	△ 1,059	有価証券の取得による支出	0	0	0	定期預金の預入による支出	4,500	5,500	1,000	奨学金の貸付による支出	7	7	0	その他の投資活動による支出	1	0	△ 1	財務活動による支出	1,123	1,122	△ 1	長期借入の返済による支出	1,103	1,103	0	移行前地方債償還債務等の 償還による支出	20	20	0	翌年度への繰越金	5,735	9,645	3,910					
(単位：百万円)																																																																																																																																																																																																																
区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																																													
収 入	25,985	25,769	△ 216																																																																																																																																																																																																													
営業収益	25,759	25,523	△ 236																																																																																																																																																																																																													
医業収益	23,692	23,436	△ 256																																																																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	1,432	1,493	61																																																																																																																																																																																																													
資産見返運営費負担金等戻入	635	594	△ 41																																																																																																																																																																																																													
営業外収益	216	226	10																																																																																																																																																																																																													
運営費負担金収益	36	36	0																																																																																																																																																																																																													
その他医業外収益	180	190	10																																																																																																																																																																																																													
臨時利益	10	20	10																																																																																																																																																																																																													
支 出	25,913	25,870	△ 43																																																																																																																																																																																																													
営業費用	24,493	24,521	28																																																																																																																																																																																																													
医業費用	24,298	24,356	58																																																																																																																																																																																																													
一般管理費	195	165	△ 30																																																																																																																																																																																																													
営業外費用	1,406	1,332	△ 74																																																																																																																																																																																																													
臨時損失	14	18	4																																																																																																																																																																																																													
純 利 益	72	△ 101	△ 173																																																																																																																																																																																																													
(単位：百万円)																																																																																																																																																																																																																
区 分	予算額 (当 初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																																													
資金収入	37,800	41,832	4,032																																																																																																																																																																																																													
業務活動による収入	25,381	25,174	△ 207																																																																																																																																																																																																													
診療業務による収入	23,735	23,434	△ 301																																																																																																																																																																																																													
運営費負担金による収入	1,468	1,540	72																																																																																																																																																																																																													
補助金等収入	65	64	△ 1																																																																																																																																																																																																													
その他の業務活動による収入	113	136	23																																																																																																																																																																																																													
投資活動による収入	5,066	7,073	2,007																																																																																																																																																																																																													
有価証券の売却による収入	0	500	500																																																																																																																																																																																																													
定期預金の払出による収入	4,500	6,000	1,500																																																																																																																																																																																																													
運営費負担金による収入	564	564	0																																																																																																																																																																																																													
奨学金の返還による収入	1	1	0																																																																																																																																																																																																													
その他の投資活動による収入	1	7	6																																																																																																																																																																																																													
財務活動による収入	415	370	△ 45																																																																																																																																																																																																													
長期借入による収入	415	370	△ 45																																																																																																																																																																																																													
前年度からの繰越金	6,938	9,216	2,278																																																																																																																																																																																																													
資金支出	32,065	32,187	122																																																																																																																																																																																																													
業務活動による支出	23,814	23,997	183																																																																																																																																																																																																													
人件費支出	11,344	11,283	△ 61																																																																																																																																																																																																													
材料費支出	7,659	8,307	648																																																																																																																																																																																																													
その他の業務活動による支出	4,811	4,407	△ 404																																																																																																																																																																																																													
投資活動による支出	7,128	7,068	△ 60																																																																																																																																																																																																													
有形・無形固定資産の取得による支出	2,620	1,561	△ 1,059																																																																																																																																																																																																													
有価証券の取得による支出	0	0	0																																																																																																																																																																																																													
定期預金の預入による支出	4,500	5,500	1,000																																																																																																																																																																																																													
奨学金の貸付による支出	7	7	0																																																																																																																																																																																																													
その他の投資活動による支出	1	0	△ 1																																																																																																																																																																																																													
財務活動による支出	1,123	1,122	△ 1																																																																																																																																																																																																													
長期借入の返済による支出	1,103	1,103	0																																																																																																																																																																																																													
移行前地方債償還債務等の 償還による支出	20	20	0																																																																																																																																																																																																													
翌年度への繰越金	5,735	9,645	3,910																																																																																																																																																																																																													

中期計画(令和6年度～令和9年度)	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価			前年度計画 法人における自己評価
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	評価	前年度計画の類似項目の評価	
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額						
1 限度額 4,000百万円	1 限度額 4,000百万円	・短期借入金の実績なし	S			S	S
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応						
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画							
なし							
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画							
なし							
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途						
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A			A	A
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項						
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めたときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。 ・計画に記載の契約等による額とした。 ・該当なし	B			B	B

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																																		
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																																							
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																																							
① 医療機器・施設整備については、費用対効果、地域の医療ニーズ、他機関との機能分担、医療技術の進展等を総合的に判断し、費用の抑制に努めながら実施する。また、現有医療機器・施設を適正に管理し長寿命化に努める。 日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき医療機器・施設整備を図る。	① 医療機器については、費用対効果、地域の医療ニーズ、他機関との機能分担、医療技術の進展を総合的に判断し、費用の抑制に努めながら整備する。 ② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと、施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また、日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市との協議に基づき医療機器・施設整備を図る。	・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療技術の進展等を総合的に判断し、母体胎児監視システム、電動ベッドの更新や、手術器具等の整備し、適切な医療の確保に努めた。 ・日本海総合病院は施設整備について、中長期計画等に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。日本海酒田リハビリテーション病院については、施設整備の実績はなかった。 【実績】修繕工事（日本海総合病院） <table><tr><th>工事名</th><th>契約額(円)</th><th>概 要</th></tr><tr><td>非常用発電機改修工事</td><td>17,600,000</td><td>既存機（エネルギー機）に設置の非常用発電機のメーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。</td></tr><tr><td>空調機ユニット更新工事</td><td>46,035,000</td><td>耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機2基を更新した。</td></tr><tr><td>ファンコイルユニット交換工事</td><td>29,150,000</td><td>耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット43台を更新した。</td></tr><tr><td>空冷式エアコン更新工事</td><td>27,863,000</td><td>耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。</td></tr><tr><td>エレベーター更新工事</td><td>116,600,000</td><td>メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新（4・5号機）した。</td></tr></table> ・日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を行った。 【実績】医療機器・施設整備状況（日本海八幡クリニック等診療所） <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>内容</th></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2件</td><td>八幡：血圧脈波測定装置更新 松山：電子カルテ導入</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1件</td><td>八幡：電子カルテ導入</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>5件</td><td>各診療所：医療機器更新等</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>7件</td><td>各診療所：医療機器更新等</td></tr></table> ・庄内地域における急速な人口減少・少子高齢化や地域医療構想等を踏まえ、病床40床廃止し最適な規模に見直しすることで病院機能の効率的な運用を図った。 ・「すこやかレディースクリニック」との不妊治療の集約化に伴い、庄内地域唯一の生殖補助医療の提供体制を構築した。	工事名	契約額(円)	概 要	非常用発電機改修工事	17,600,000	既存機（エネルギー機）に設置の非常用発電機のメーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。	空調機ユニット更新工事	46,035,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機2基を更新した。	ファンコイルユニット交換工事	29,150,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット43台を更新した。	空冷式エアコン更新工事	27,863,000	耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。	エレベーター更新工事	116,600,000	メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新（4・5号機）した。	年度	件数	内容	令和3年度	2件	八幡：血圧脈波測定装置更新 松山：電子カルテ導入	令和4年度	1件	八幡：電子カルテ導入	令和5年度	5件	各診療所：医療機器更新等	令和6年度	7件	各診療所：医療機器更新等	A			A	A
工事名	契約額(円)	概 要																																						
非常用発電機改修工事	17,600,000	既存機（エネルギー機）に設置の非常用発電機のメーカー部品対応期間が超過している部品等を更新した。																																						
空調機ユニット更新工事	46,035,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機2基を更新した。																																						
ファンコイルユニット交換工事	29,150,000	耐用年数の超過により劣化しているファンコイルユニット43台を更新した。																																						
空冷式エアコン更新工事	27,863,000	耐用年数の超過により劣化している南棟のエアコン部品及び室外機を更新した。																																						
エレベーター更新工事	116,600,000	メーカー部品対応期間が超過している部品等を更新（4・5号機）した。																																						
年度	件数	内容																																						
令和3年度	2件	八幡：血圧脈波測定装置更新 松山：電子カルテ導入																																						
令和4年度	1件	八幡：電子カルテ導入																																						
令和5年度	5件	各診療所：医療機器更新等																																						
令和6年度	7件	各診療所：医療機器更新等																																						
② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行う。	④ 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、別表4のとおり、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行う。	・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、別表4のとおり、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画（整備計画）のもとに行った。 【医療機器・施設整備の計画】（単位：百万円） <table><tr><th>区 分</th><th>実 績</th><th>財 源</th></tr><tr><td>資本支出</td><td></td><td></td></tr><tr><td>建設改良費</td><td>1,553</td><td>設立団体からの</td></tr><tr><td>施設整備</td><td>918</td><td>長期借入金等</td></tr><tr><td>医療機器等</td><td>635</td><td></td></tr></table>	区 分	実 績	財 源	資本支出			建設改良費	1,553	設立団体からの	施設整備	918	長期借入金等	医療機器等	635																								
区 分	実 績	財 源																																						
資本支出																																								
建設改良費	1,553	設立団体からの																																						
施設整備	918	長期借入金等																																						
医療機器等	635																																							

中期計画（令和6年度～令和9年度）	令和6年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人にお ける自己 評価																													
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評 価	前年度計画の類 似項目の評定																														
2 法人が負担する債務の償還に関する事項																																				
3 積立金の使途	2 積立金の使途																																			
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、法人が負担する債務の償還、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	B			B	B																													
4 その他法人の業務運営に関する事項	3 その他法人の業務運営に関する事項																																			
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。 ・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。 【実績】内視鏡ドック、PET/CT検診 <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>内視鏡ドック</td><td>78件</td><td>93件</td><td>84件</td><td>89件</td></tr><tr><td>PET／CT検診（一般）</td><td>36件</td><td>46件</td><td>29件</td><td>32件</td></tr><tr><td>PET／CT検診(酒田市)</td><td>10件</td><td>13件</td><td>20件</td><td>34件</td></tr><tr><td>PET／CT検診(山形県市町村共済互助会)</td><td>22件</td><td>24件</td><td>30件</td><td>40件</td></tr><tr><td>PET／CT検診(ふるさと納税)</td><td>0件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>4件</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	内視鏡ドック	78件	93件	84件	89件	PET／CT検診（一般）	36件	46件	29件	32件	PET／CT検診(酒田市)	10件	13件	20件	34件	PET／CT検診(山形県市町村共済互助会)	22件	24件	30件	40件	PET／CT検診(ふるさと納税)	0件	2件	0件	4件	B		B	B
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
内視鏡ドック	78件	93件	84件	89件																																
PET／CT検診（一般）	36件	46件	29件	32件																																
PET／CT検診(酒田市)	10件	13件	20件	34件																																
PET／CT検診(山形県市町村共済互助会)	22件	24件	30件	40件																																
PET／CT検診(ふるさと納税)	0件	2件	0件	4件																																
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。 【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数 <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>542名</td><td>396名</td><td>616名</td><td>511名</td></tr><tr><td>うち職員利用者数</td><td>235名</td><td>167名</td><td>228名</td><td>153名</td></tr></table> 【実績】受診付添サービス等利用者 <table><tr><th>区 分</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>受診付添サービス</td><td>3名</td><td>0名</td><td>5名</td><td>1名</td></tr><tr><td>病児送迎サービス</td><td>1名</td><td>1名</td><td>0名</td><td>3名</td></tr></table>	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	利用者数	542名	396名	616名	511名	うち職員利用者数	235名	167名	228名	153名	区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	受診付添サービス	3名	0名	5名	1名	病児送迎サービス	1名	1名	0名	3名	B		B	B
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
利用者数	542名	396名	616名	511名																																
うち職員利用者数	235名	167名	228名	153名																																
区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																
受診付添サービス	3名	0名	5名	1名																																
病児送迎サービス	1名	1名	0名	3名																																
		S:計画を大幅に上回っている(目標数値110%超)	9	0		7	7																													
		A:計画を上回っている(目標数値100%超110%以下)	22	0		20	20																													
		B:計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下)	14	0		13	13																													
		C:計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下)	0	0		0	0																													
		D:計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)	0	0		0	0																													
		計	45	0		40	40																													